

「栃木県地域訓練コンソーシアムによる 離職者向け職業訓練コースの開発及 び検証」に係る報告書

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

栃木支部栃木職業能力開発促進センター

はじめに

離職者を対象とした短期間の委託訓練や求職者支援訓練といった職業訓練プログラムは、これまで民間教育訓練機関等において実施され、そのノウハウが培われてきましたが、一方で、今後、民間教育訓練機関等を活用した委託訓練において、地域で必要な能力開発機会を確保する際には、より就職可能性を高めることができる職業訓練コースの提供が求められています。

厚生労働省の「非正規雇用労働者の能力開発抜本強化に関する検討会」の報告書（平成24年12月21日公表）においても、「身近な地域で、必要な訓練を受けることができるよう、地域の能力開発の拠点として、コンソーシアム方式で、地域の公共職業訓練機関、大学等教育機関を活用して、経済団体等と連携・協力しながら、地域や社会全体の人材ニーズを踏まえた能力開発機会を身近な場で提供していくことが必要である」として、その際には「公共職業訓練機関や業界団体等が連携・協力して効果的な訓練カリキュラム等を開発・普及させていくこと」や「民間職業訓練機関の質を向上させること」が重要な取組とされています。

また、政府の「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）においても、「地域レベルの産学官コンソーシアムの組成による就職可能性を高める訓練コースの開発・実施等によるフリーター等の正規雇用化支援を実施する」と明記されています。

これらのことから、企業ニーズ等を踏まえた、より就職可能性を高めるための職業訓練コースを開発するため、栃木職業能力開発促進センターにおいて、栃木県、栃木労働局、企業・事業主団体、労働組合、工業高校及び民間教育訓練機関等によるネットワークを構築し、栃木県地域訓練コンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）を組織しました。当該コンソーシアムにおいて、「販売・接客」と「介護」の2分野において職業訓練コースを開発し、委託訓練の実施を通じた訓練カリキュラムの検証を行い、その結果を踏まえてモデルカリキュラムとして取りまとめました。

本報告書はこれら一連の成果を取りまとめたものであり、本事業の成果が、今後の職業訓練の参考となれば幸いです。

最後に、本事業の推進にあたって多大なご協力をいただいたコンソーシアム委員並びに関係各位に対し、厚くお礼を申し上げます。

目 次

1	コンソーシアムの概要	P3
2	栃木県地域訓練コンソーシアム委員	P3
3	分野選定の背景	P4
4	検証訓練の実施状況及び検証結果	P6
5	本事業の成果物について	P20

資料集

I 「販売・接客プロスタッフ養成科」関連資料一覧

資料 1－1 委託訓練モデルカリキュラム

資料 1－2 科目の内容・細目シート

資料 1－3 使用教材リスト

II 「介護実務者研修・介護調理科」関連資料一覧

資料 2－1 委託訓練モデルカリキュラム

資料 2－2 科目の内容・細目シート

資料 2－3 使用教材リスト

1 コンソーシアムの概要

地域の人材ニーズ等を踏まえた職業訓練コースを開発するため、栃木職業能力開発促進センターにおいて、栃木県、栃木労働局、企業・事業主団体、労働組合、工業高校及び民間教育訓練機関等によるネットワークを組織し、企業・事業主団体が求める知識・能力を職業訓練に取り込む連携体制（地域コンソーシアム）を構築しつつ、離職者向け職業訓練コースの開発を行った。

なお、コンソーシアムの開催概要については以下のとおり。

開催回	開催日	議題等
第 1 回	平成27年6月18日	・ 栃木県地域訓練コンソーシアムの設置 ・ コンソーシアム事業の概要 ・ 開発する離職者向け職業訓練コースの分野選定 ・ カリキュラム概要の検討 ・ 今後のスケジュール
第 2 回	平成27年9月30日	・ 委託先機関の決定等 ・ カリキュラムの内容精査 ・ 受講者募集方法等 ・ 今後のスケジュール
第 3 回	平成28年5月13日	・ 離職者訓練（委託訓練）の実施状況 ・ 在職者訓練の開発分野と団体の選定等 ・ 人材育成研究会を活用した在職者訓練コースの開発 ・ 今後のスケジュール
第 4 回	平成29年3月9日	・ 離職者向け職業訓練コースの開発及び検証に係る報告 ・ 在職者向け職業訓練コースの開発及び成果物の報告

2 栃木県地域訓練コンソーシアム委員（順不同）

座長 栃木職業能力開発促進センター所長
 栃木県中小企業団体中央会
 栃木県商工会連合会
 一般社団法人栃木県商工会議所連合会
 日本労働組合総連合会栃木県連合会
 一般社団法人栃木県専修学校各種学校連合会
 株式会社東武宇都宮百貨店
 一般社団法人栃木県老人福祉施設協議会
 栃木県立那須清峰高等学校
 栃木労働局職業安定部地方訓練受講者支援室
 栃木県産業労働観光部労働政策課

3 分野選定の背景

栃木県において開発する離職者向け訓練コースとして、県の産業施策、求人・求職者の動向及び業界団体等へのヒアリングから、建設分野、農業分野、ＩＴ分野、観光分野、販売分野、介護分野が候補となった。

上記６分野について、県の要望に基づき更なる分野ニーズのヒアリングを行うと共に、教育訓練機関の設置状況や委託・求職者支援訓練実施状況、求人・求職のニーズの有無、より就職可能性が高まる訓練コースの開発が可能であるか等を踏まえて、検討した。「建設」と「農業」については県内に委託訓練を実施できる機関が少なく、受講者確保に対する懸念が非常に大きかったこと、「ＩＴ」については教育訓練機関は存在するものの離職者向け訓練として有効なサーバーの運用管理に関する知識を指導する指導者不足の問題及び業界未経験者の再就職の困難度から選定候補から外すことにした。また、「観光」については県の観光施策とも一致し今後需要が見込まれる分野であったが、県の施設内訓練で「観光サービス科」を設定しており、県より観光分野については棲み分けを考慮してほしいとの意向が示されたことから選定候補から外し、栃木県地域訓練コンソーシアムにおいて、以下２分野を選定した。

●販売・接客分野

政府は、２０１４年６月７日、非正規雇用の人の待遇改善や正社員への登用を進める為、非正規雇用を対象とした資格制度を創設する方針を固めた。主に接客能力など現場での「働きぶり」を評価する仕組みで、「新成長戦略」に盛り込まれている。更に政府は、観光立国に向けた外国人客の旅行消費を促すことによる「観光で稼ぐ力」の底上げを最重要課題に挙げ、地方での免税店拡大を促しており、栃木県でも平成２７年４月１日現在において１３４店舗と一年前に比べ３．９倍に増加している。また観光客の入込数の内訳を見ると、観光需要は宿泊客よりも日帰り観光客による店舗等への店員の需要が見込める。

また、「平成２６年度の職業別有効求職・求人状況」によると、販売職の求人数は２５，９５１人で、６分野中介護に次ぐ第２位の求人数となっている。また求職者数は、２０，７７９人となっており、一定規模の求人・求職ニーズがあることが分かる。

上記のような理由から、コンソーシアムにおいて、検証訓練で開発する分野の一つとして「販売・接客分野」を設定することとし、接客技術、マーケット調査、店舗運営技術等を習得し、販売士２級程度の知識の習得に加え外国人の接客を想定し、店舗接客に最低限必要とされる語学習得を併せて行う訓練コースとした。

また、地域商店街の活性化のため、将来的に開業という道も拓けるよう開業知識も入れた。

また、同業種に従事する者は一般的に若年者が多く占めていることから、訓練対象者を概ね40歳未満とし、「若年者向けコース」とした。

●介護分野

厚生労働省の試算によると、栃木県では、介護人材が2017年に約2800人、2020年に約4300人、2025年に約7100人不足するという。

栃木労働局から提供された「平成26年度の職業別有効求職・求人状況」においても、介護職の求人数は31,157人で、6分野の中で一番多いものの、求職者数は14,447人と、人手不足が顕著となっている。

このため、厚生労働省の医療と介護の一体的な改革の中で、平成27年度には介護人材確保に90億円の予算が設定されており、また、制度改正において平成28年度の介護福祉士国家試験から、実務者研修の修了を必須要件としている。

また、栃木県の高齢者支援計画「はつらつプラン21」でも、介護職の人材の育成・確保についての施策として、介護職員が痰の吸引や経管栄養等の医行為を適切に行うことができるよう、研修等の体制の整備に努めている。介護サービス事業所においても、介護福祉士等の上位有資格者を雇用することにより、サービス提供体制強化加算のメリットがあるため、有資格者の雇用に追い風となっている。

このような状況の中、栃木県内では平成27年度において介護分野の公共職業訓練・求職者支援訓練は介護初任者研修のみで、実務者研修の設定はなかった。

また、通信コースでの実務者研修実施機関は存在していたことから、通学コースの設定は十分可能と考えた。

上記のような理由から、コンソーシアムにおいて、検証訓練で開発する分野の一つとして「介護分野」を設定することとし、介護分野の人材不足解消のため、未経験から実務者研修修了資格が取得できることに加え、介護の現場で、度々職員が介護食の調理に携わるという状況があるため、介護食の調理に関する知識の習得を併せて行う訓練コースとした。

また、介護業界では、若者よりむしろ利用者と年代の近い中高年の方が重用される傾向を鑑み、年齢制限を設けない「一般向けコース」として設定した。

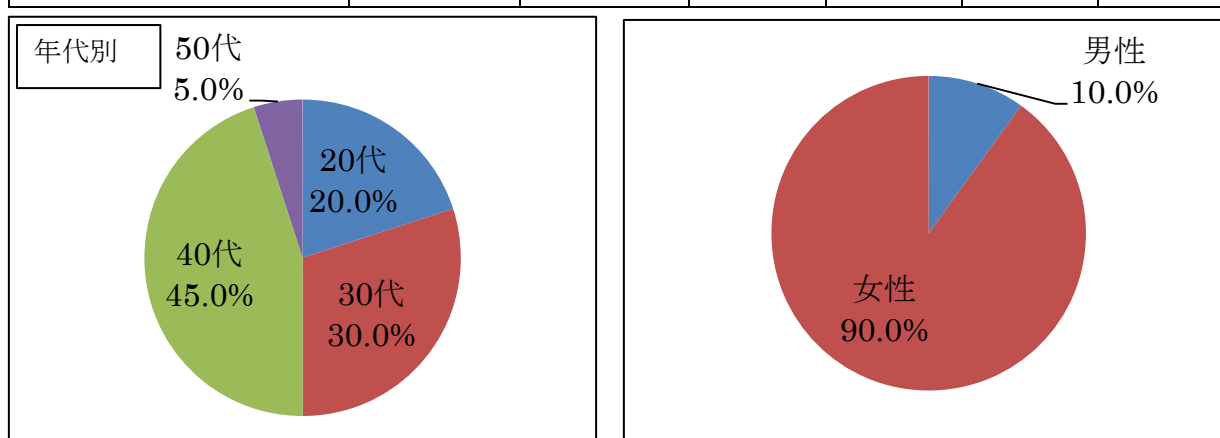
4 検証訓練の実施状況及び検証結果

販売・接客プロスタッフ養成科

訓練実施機関	訓練開始日	訓練終了日	訓練期間	定員
オリオンコンピュータ(株)	平成 28 年 2 月 25 日	平成 28 年 8 月 24 日	6 か月	20 名

応募・入所状況

応募者数	入所者数	(うち女性)	20 代	30 代	40 代	50 代
32 名 (男性 3 名, 女性 29 名)	20 名	(18 名)	4 名	6 名	9 名	1 名



開講月が2月であり、募集期間が年末年始をはさみ12月21日～2月1日までであった。県内ハローワーク及び訓練実施機関での訓練コース説明会を実施したが、対象が40歳未満と限定されていたことや、求職者の動きがにぶい時期であったこともあり応募状況は低調であった。途中から年齢条件を緩和すると共に、募集期間を延長し、追加広告等も実施した結果、定員の1.6倍の応募があった。ただし、入所選考前に就職決定等で辞退者も多く、直前まで繰り上げ合格の対応を行ったが定員と同数の入所者数となった。

また、受講者に応募時に当科を選んだ理由について聞き取りをしたところ、以下のような意見があった。

- ・接客外国語が3か国語学べる
- ・資格が取れる
- ・東武宇都宮百貨店で実習ができる

なかでも語学への関心が特に高く、販売接客分野でコース設定する際に、語学を組み合わせることは大変有効だったようだ。

就職の状況（就職率 94.4%）

就職率	終了時	終了後 1 ヶ月	終了後 3 ヶ月
	83.3%	83.3%	94.4%

修了者数	（うち女性）	（うち就職）	中退者数	（うち女性）	（うち就職）
16 名	（15 名）	（15 名）	4 名	（3 名）	（2 名）

就職者 17 名	関連就職	13 名	76.5%
	常用雇用	9 名	52.9%
	パート・アルバイト	8 名	47.1%

※就職率の算定式は以下の通り

（修了者のうち就職者数＋就職中退者数）／（修了者数＋就職中退者数）

中退者は 4 名であり、うち就職による中退者 2 名、病気等体調不良による中退者 2 名であった。

修了者は 16 名で、訓練終了時の就職率は 83.3%（13 名）、終了後 1 ヶ月目の就職率は変わらず、終了 3 ヶ月後の就職率は 94.4%（15 名）となった。

また、実習先から、リクエストがあり、就職したものが 2 名いた。

販売・接客プロスタッフ養成科カリキュラム

訓練科名		販売・接客プロスタッフ養成科		就職先の 職 務	小売り、流通業、販売業、 観光業等ショップにおける 販売スタッフ、ショップス タッフ、店舗管理スタッフ、 バイヤー、運営責任者等	
訓練期間		平成 28 年 2 月 25 日 ～平成 28 年 8 月 24 日（6 か月）				
訓練目標		① 小売販売店等に求められる接客能力、販売能力の習得 ② 商品の見極めや集客および顧客の再来店を促す店舗作りのための知識の習得 ③ パソコンによるマーケティング分析、広報宣伝、POP、店舗デザイン、マネジ メントとしての店舗管理・運営のためのスキル獲得 ④ 社会人としての基礎力、接客のための基礎語学（英語・中国語・韓国語）習得				
仕上がり像		職業人としての一般常識、コンプライアンス意識、リスク管理の習得とともに、外 国人を含むコミュニケーションスキルやパソコン技能、接客・販売サービスや営業 販売の基礎を習得し、販売員としておよび販売管理者として環境社会にも配慮した 適切な業務運営管理ができ、さらに適応する資格取得および独立・開業する際の基 本的知識までを取得、即戦力のビジネスパーソンとなれる人材を育成する。				
訓練 の 内 容	学 科	科 目		科 目 の 内 容		訓練時間
		入所式等		入所式、修了式、オリエンテーション等		
		接客・販売能力		接客対応の基本技術対応、販売促進技術、クレーム対応、 返品対応		36
		店舗戦略		需要創造、顧客データによるマーケティング手法（FSP）、 広告・宣伝		42
		商品戦略		商品の定義と品質、商品分析、商品カテゴリー、 品目ミックス		42
		店舗運営		ストアオペレーションの基本、マーチャンダイジングの 流れ、POS、EOS		42
		経営基礎・管理会計		販売管理に伴う業務、小売業の利益の種類、売買損益の 計算、経営分析		42
		開業知識		独立・開業する際の知識、集客ノウハウ、創業のリスク 等		24
		接客外国語		外国語（英語・中国語・韓国語）による接客に必要なフ レーズの習得		150
		社会人基礎		ビジネスマナー、労働関係法基礎、コンプライアンス意 識、リスク管理等		42
		就職支援		自己紹介、履歴書の書き方、面接指導、キャリアコン、就 職講話等		60
	安全衛生		VDT 作業、販売員としての必要な安全衛生知識、防災訓練、 環境社会配慮		6	
	実 技	接客・販売演習		接客・販売総合演習（店舗接客対応演習、クレーム対応や 返品対応の事例研究と対応方法等）		36
		店舗・商品戦略演習		店舗・商品戦略総合演習（仮説商品による事業計画立案、 マーケティング・商圈分析等の事例研究、企画案発表等）		30
店舗運営演習		店舗運営演習（マーチャンダイジング、ストアオペレーシ ョン演習等）		36		
支 実	総合課題演習		販売士 3 級、販売士 2 級の知識取得を中心にした課題演 習		21	

訓練の内容	パソコン演習	ビジネス文書作成 (Word 2013)、表計算作成、データベース (ピボットテーブル) 機能 (Excel 2013)、プレゼンテーション資料作成 (PowerPoint 2013) ……POP、チラシ、DM 作成、日報、データ分析・報告書作成等	48
	職場調査演習	近隣の小売店や、デパート等に出向いての現地調査、ストアコンパリゾン、店舗作りの基礎調査、グループディスカッション、発表プレゼンテーション等の実習	24
	職場体験	接客業務体験 (体験先：東武宇都宮百貨店)	12
	振替総合課題演習	総合課題演習と同等	12
	訓練時間総合計 705 時間 (学科 486 時間、実技 219 時間)		
主要な機器設備 (参 考)		パソコン一式各自 1 台 (Windows10、Office2013Std.)、ホワイトボード プロジェクタ、レーザープリンタ、インターネット接続環境、実習用 POS レジ サーバー (ファイル)	

◆検証結果

○受講生募集

応募者確保のため、募集時期や年齢条件等は十分検討する必要がある。

具体的には、求職者の動きが活発な時期に募集時期を合わせることで、職種が若年者向けコースとしたが結果的に応募者を狭めてしまったため、一般コースとしても良いかもしれない。

○カリキュラムの内容

終了時アンケートからもカリキュラムは概ね適切であったと判断できる。特に販売・接客員として就業するための実践的なカリキュラムが効果的であったと考えられる。

具体的には、訓練の終盤で「職場調査演習」を行い、近隣の 4 大コンビニエンスストアの売り場を比較調査することにより、販売店の実態を店側と消費者側双方の視点で理解させることができた。また、さまざまな売り場を持つ百貨店にて「職場体験」を行い、売り場のしくみ等、「接客・販売能力」や「接客・販売演習」で学習したことの検証ができた。

さらに、これらを基に「店舗・商品戦略演習」にて、仮説商品による事業計画立案、マーケティング、商圈分析、商品料金設定など、訓練で習得した知識と経験を活用した企画案を作成・発表を行うことにより実践力を高めることができた。

なお訓練開始時や訓練期間中に訓練の改善・見直しや満足度に係る受講生アンケートを複数回実施しているが、カリキュラムに対する満足度や習得度 (自己評価) は概ね良好である中、次のような意見も一部で見受けられた。

- ・接客外国語は、中国語・韓国語に比べ英語が長い。
- ・経営基礎・管理会計は、時間が短い。

○資格関係

販売士2級（71.4%） 受験者数14人 合格者10人
 販売士3級（66.7%） 受験者数 3人 合格者 2人

○就職支援の状況等

- ・月1回ハローワークへ職業相談のための来所日を設定し、担当者による相談体制をとった。また、ハローワークと訓練実施機関、ポリテクセンターとが連携し、就職支援の方向性を合わせ、個々の訓練生の状況を把握するために「職業相談連絡票」（独自様式）を活用して、情報を共有した。
- ・あらかじめ設定しているキャリアコンサルティング以外にも、受講生の就職先の希望や応募のタイミングに応じて相談支援を行った。
- ・訓練後半の時期に「就職活動予定・結果報告書」により、活動状況の様子をつぶさに確認した。特に動きの鈍い受講生には適宜個別面談を実施した。

以上の支援が特に高い就職率につながったと思われる。

○コース開発の妥当性

受講アンケートや評価テストの結果から、各学科・実技とも習得度は概ね良好であると共に就職率も94.4%となった。

また、女性が多いこともあり、当初から希望雇用形態にパート・アルバイトを希望しているものが複数いたが、販売・接客の職に就いた者が多く（関連就職76.5%）、そのうち常用雇用（52.9%）、パート・アルバイト（47.1%）であった。

これらのことから、訓練効果及び求人・求職ニーズにおいても、販売・接客分野の訓練の妥当性は高いものと思われる。

◆改善内容

○カリキュラムの内容

「職場調査演習」にて、コンビニエンスストアの比較調査をしたが、訓練の実施場所によっては同じ業態の売場比較にとどまらず、別の業態（スーパー、ドラッグストア、小売店）を比較対象とする方がより訓練効果が高まる。

○科目時間数等の見直し

受講生アンケートの結果より、経営基礎・管理会計の科目の時間の短さが

指摘されており、且つ評価テストの結果からも習得度が低かった。

接客外国語の中国語・韓国語に比べ英語が長かったとの意見については、接客外国語を3か国語で設定する場合はバランス良い時間配分が必要（地域の実情に合わせ、1か国語に限定してしっかり勉強させても良い）と思われる。

また、接客外国語の中で行われているロールプレイについては、学科ではなく実技とすべき内容であった。

これらのことより、以下のとおり時間数を見直すことが妥当と思われる。

「経営基礎・管理会計」	:	42h	→	48h (+6h)
「接客外国語（学科）」	:	150h	→	109h (-41h)
「接客外国語（実技）」	:	0h	→	41h (+41h)

◆栃木県へ普及するに当たって

栃木県の委託訓練として実施する場合には、栃木県の基本的な訓練時間（300時間程度）を踏まえ、6ヶ月訓練を3ヶ月程度にアレンジすることもある必要があるかも知れない。

その場合、接客外国語を必要性の高い1か国語に限定し、「開業知識」や「経営基礎・管理会計」「社会人基礎」の時間数を大幅に減らすとともに、仕上がり像を管理責任者から販売スタッフに下げる等の見直しが考えられる。

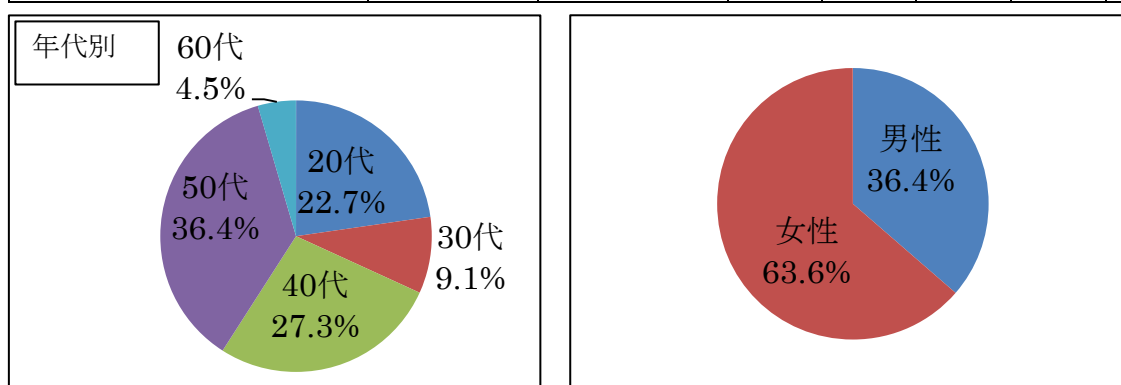
ただし、今回の6ヶ月訓練で目指す先に、地域活性化のため、販売・接客業において運営まで出来る知識を身につけ、先々には地元で開業できるような人材の育成という点を考えれば、より高度な知識が習得できる6ヶ月訓練の設定を今後は検討していただくことが望ましい。

介護実務者研修・介護調理科

訓練実施機関	訓練開始日	訓練終了日	訓練期間	定員
TBC福祉教育センター	平成28年3月7日	平成28年9月6日	6か月	20名

応募・入所状況

応募者数	入所者数	(うち女性)	20代	30代	40代	50代	60代以上
41名 (男性12名, 女性29名)	22名	(14名)	5名	2名	6名	8名	1名



開講月が3月であり、募集期間を年明け1月8日～2月9日とし、県内ハローワーク及び訓練実施機関での訓練コース説明会に加え、介護関連での就職や資格取得を考えている人へ直接アプローチするため、インターネットの情報サイトへの掲載や折込広告等を行った結果、定員の2倍を超える応募があった。

このコースは、未経験者から介護実務者研修の資格が取得できるコースであったため、異業種からの離転職者が多かったものの、上級資格取得を希望する介護経験者も混在していた。また、業界では年齢の高い介護職員のニーズもあることから年齢制限のない一般コースとし、介護業界での就職意欲の高さを重視して選考をした。

また、制度改正があったため介護分野の訓練でありながら、この時期の募集は好調であった。

また、カリキュラムに「介護調理」を加えたことも応募者の増加に寄与したと思われる。

就職の状況（就職率 100%）

就職率	終了時	終了後 1 ヶ月	終了後 3 ヶ月
	61.9%	95.2%	100%

修了者数	（うち女性）	（うち就職）	中退者数	（うち女性）	（うち就職）
21 名	（14 名）	（21 名）	1 名	（0 名）	（0 名）

就職者 21 名	関連就職	20 名	95.2%
	常用雇用	14 名	66.6%
	パート・アルバイト	5 名	23.8%
	派遣	1 名	4.8%
	自営	1 名	4.8%

※就職率の算定式は以下の通り

（修了者のうち就職者数＋就職中退者数）／（修了者数＋就職中退者数）

中退者は 1 名であり、体調不良による中退であった。

修了者は 21 名で、訓練終了時の就職率は 61.9%（13 名）、終了後 1 ヶ月目の就職率は 95.2%（20 名）、終了 3 ヶ月後の就職率は 100%（21 名）となった。

また、職場実習先へ就職が決まった者が 2 名いた。

介護実務者研修・介護調理科カリキュラム

訓練科名		介護実務者研修・介護調理科		就職先の 職 務	・施設介護職員 ・訪問介護員 ・介護現場における サービス提供責任者
訓練期間		平成 28 年 3 月 7 日～平成 28 年 9 月 6 日 (6 か月)			
訓練目標		介護現場におけるサービス提供責任者として、働く上で必要となる介護技術や福祉全般の知識、介護現場における調理の技法、食品衛生の知識に加え、医療等の関連知識・技術を習得し、適切な医療的ケアが実践できるようになる。			
仕上がり像		訪問介護及び施設介護の実務者に必要な幅広い知識・技能・技術を習得し、介護調理の基礎的技術を幅広く学んだ上で、訪問介護職、施設介護職の仕事に従事することができる人材の養成。			
訓練 の 内 容	科 目		科 目 の 内 容		訓練時間
	学 科	開講式等	開講式・オリエンテーション・修了式		
		就職支援	就職活動の進め方と求人情報収集の仕方、ジョブカードの書き方、模擬面接、履歴書の書き方、合同企業説明会、就職講和		30
		安全衛生	介護における安全衛生対策、安全教育		3
		職業能力基礎講習	アイスブレイク・自己開示、ビジネスマナー、コミュニケーションの基本・自分の強み弱みの表現		21
		人間の尊厳と自立	人間の多面的な理解と尊厳、自立・自律の支援、人権と尊厳		6
		人間の尊厳と自立 (総括)	人間の多面的な理解と尊厳、自立・自律の支援、人権と尊厳		6
		社会の理解Ⅰ	介護保険制度創設の背景と目的、介護保険制度の基礎的理解、介護保険制度における専門職の役割		6
		社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践にかかわる諸制度		36
		社会の理解Ⅰ・Ⅱ(総括)	介護保険制度創設の背景と目的、介護保険制度の基礎的理解、介護保険制度における専門職の役割、生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践にかかわる諸制度		6
		介護の基本Ⅰ	介護福祉士の制度、尊厳の保持・自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理		12
		介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全		24
		介護の基本Ⅰ・Ⅱ(総括)	介護福祉士の制度、尊厳の保持・自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理、介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全		6
		コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション		10

訓練の内容	学	コミュニケーション技術（総括）	介護におけるコミュニケーション、介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	1
		生活支援技術Ⅰ	生活支援とＩＣＦ、移動・移乗の介護技術の基本、食事の介護技術の基本、入浴・清潔保持の介護技術の基本、排泄の介護技術の基本、着脱、整容、口腔清潔の介護技術の基本、家事援助の基本	9
		生活支援技術Ⅱ	移動・移乗の介護、睡眠の介護、終末期の介護	10
		介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的理解	20
		介護過程Ⅱ	介護過程の展開の実際	6
		介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実践	9
		介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（総括）	介護過程の基礎的理解、介護過程の展開の実際、介護過程の展開の実践	1
		発達と老化の理解Ⅰ	こころの変化と日常生活への影響、からだの変化と日常生活への影響	12
		発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多くみられる症状・疾病等	21
		発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ（総括）	こころの変化と日常生活への影響、からだの変化と日常生活への影響、人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多くみられる症状・疾病等	6
		認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念と視点、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本	12
		認知症の理解Ⅱ	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際	16
		認知症の理解Ⅰ・Ⅱ（総括）	認知症ケアの理念と視点、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本、医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際	6
		障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児・者や家族へのかかわり・支援の基本	12
		障害の理解Ⅱ	医学的側面からみた障害の理解、障害児・者への支援の実際	24
		障害の理解Ⅰ・Ⅱ（総括）	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児・者や家族へのかかわり・支援の基本、医学的側面からみた障害の理解、障害児・者への支援の実際	6
		こころとからだのしくみⅠ	移動・移乗に関連するからだのしくみ、食事に関連するからだのしくみ、入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ、排泄に関連するからだのしくみ、着脱、整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ	30
		こころとからだのしくみⅠ（総括）	各状態におけるからだのしくみ	3
		こころとからだのしくみⅡ	人間の心理、人体の構造と機能、移動・移乗における観察のポイント、食事における観察のポイント、入浴・清潔保持における観察のポイント、排泄における観察のポイント、着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント、睡眠における観察のポイント、終末期における観察のポイント	66

訓練内容	科	こころとからだのしくみⅡ（総括）	人間の心理、人体の構造と機能、各状態における観察のポイント	6
		医療的ケア	医療的ケア、安全な療養生活、清潔保持と感染予防、健康状態の把握、喀痰吸引概論、喀痰吸引実施手順解説、経管栄養概論、経管栄養実施手順解説	57
		医療的ケア（総括）	医療的ケア、安全な療養生活、清潔保持と感染予防、健康状態の把握、喀痰吸引概論、喀痰吸引実施手順解説、経管栄養概論、経管栄養実施手順解説	6
		食品衛生管理の基礎知識	食品衛生責任者の役割、食中毒の基礎知識、食品の衛生的な取り扱い、自主管理の推進	5
		調理全般に関する基礎知識	調理器具管理、食材管理	5
	実技	コミュニケーション技術	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	14
		コミュニケーション技術（総括）	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	5
		生活支援技術Ⅰ	居住環境の整備と福祉用具の活用、移動・移乗の介護技術の基本、食事の介護技術の基本、入浴・清潔保持の介護技術の基本、排泄の介護技術の基本、着脱、整容、口腔清潔の介護技術の基本、家事援助の基本	12
		生活支援技術Ⅱ	移動・移乗の介護、食事の介護、入浴・清潔保持の介護、排泄の介護、着脱、整容、口腔清潔の介護、睡眠の介護	32
		生活支援技術Ⅰ・Ⅱ（総括）	居住環境の整備と福祉用具の活用、各種介護技術の基本と介護、家事援助の基本	6
		介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的理解	8
		介護過程Ⅱ	介護過程の展開の実際	19
		介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実践	37
		介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（総括）	介護過程の基礎的理解、介護過程の展開の実際、介護過程の展開の実践	5
		認知症の理解Ⅱ	認知症の人や家族への支援の実際	8
		医療的ケア	喀痰吸引のケア実施の手引き、経管栄養のケア実施の手引き	21
		救急法	心肺蘇生法、AED使用法	3
		介護調理実習	各野菜の洗い方・鮮度を保つ保存方法に関する実習、各野菜の基本的な切り方、皮のむき方実習、魚貝類の適切な仕分け、道具の準備、魚貝類の水洗い作業、魚貝類のおろし方実習、魚以外の特殊食材の処理、適切な塩ふり、刺身のあしらいの準備、盛り込み・だし汁の準備・引き方、食材の味付け、吸物の味付け、煮物の野菜・肉・魚の味付け、焼き物・揚げ物の味付け実習	20
		介護実習	介護現場実習（施設サービス実習、通所サービス実習）	12
	訓練時間総合計 717 時間（学科 515 時間、実技 202 時間）			

主要な機器設備 (参 考)	実習用モデル人形、人体骨格模型、成人用ベッド、移動用リフト、スライディングボード・マット、車いす、簡易浴槽、ストレッチャー、排せつ用具、歩行補助つえ、盲人安全つえ、視聴覚機器、障害者用調理器具・食器類、和式布団一式、吸引装置一式、経管栄養用具一式、処置台またはワゴン、吸引訓練モデル、経管栄養訓練モデル、心肺蘇生訓練用機材一式、人体解剖模型
--------------------------	---

◆検証結果

○受講生募集

通常の募集方法に加え、介護関連での就職や資格取得を考えている人向けの情報サイトへの掲載や折込広告等を実施したことや、介護福祉士の資格取得要件に制度改正があったことが、介護分野の訓練でありながら好調な結果に繋がった。また、介護調理を加えたことも応募増に寄与したと思われる。

○カリキュラムの内容

習得度・就職率は良好であり、カリキュラムは概ね適切であったと判断できる。

このコースは、介護職員実務者研修として、国の定めるシラバスに基づいて実施されており、レベル・訓練時間とも、介護現場のニーズに合っていると考えられる。

なお、訓練の改善・見直しや満足度に係る受講生アンケートにおいて、カリキュラムに対する満足度は概ね良好であったが、次のような意見も一部見受けられた。

- ・ 訓練教材や資料について、数量が不足している。
- ・ 医療的ケア（演習）、介護実習、介護調理の時間が短い。

○教材

アンケートの中で難しいとの意見もあったが、業界初心者が介護サービス提供責任者になるために必要な内容が過不足なく網羅されており、多少の難しさはやむを得ないものと思われ、適当であったと考える。

○資格関係

介護実務者研修修了（１００％：中退者除く）

○就職支援の状況等

・ 職場実習によって、形態の違う介護施設（デイサービスや特別養護老人ホーム等）を経験し、自分に合う施設等の判断に役立った。

・訓練実施機関は、介護関連の施設とつながりがあり、求人依頼も数多く寄せられていたため、個々の受講生の希望を丁寧に聞きながらマッチングしていた。

・販売・接客のコース同様、「就職活動予定・結果報告書」「職業相談連絡票」（独自様式）を活用し、個々の受講生の希望就職先や活動状況を適宜把握しながら就職支援を行った。

・コンソーシアム訓練の受講生に対する業界側の期待値が高く、且つ訓練期間中から受講生に対して応募者の中から選ばれた者という意識づけを行うことで徐々に介護分野での就職意欲が高まっていった。

以上のようなことが、全員就職１００％達成に結びついた。

○コース開発の妥当性

受講アンケートや評価テストの結果から、各学科・実技とも習得度は概ね良好であると共に就職率も全員就職１００％を達成した。

また、就職先は介護サービス職に就いた者が多く（関連就職９５．２％）、そのうち常用雇用が６６．６％となった。

これらのことから、訓練効果及び求人・求職ニーズにおいても、介護実務者研修の訓練の妥当性は高いものと思われる。

◆改善内容

○科目時間数等の見直し

受講生アンケートの結果より、医療的ケア（演習）、介護実習、介護調理の時間が短いと指摘されており、習得度（自己評価）も低かった。

・医療的ケア（演習）については、時間増を検討することで、より完成度（仕上がり像）の向上を図ることができると考えられ、他の科目で法定時間をクリアする範囲の時間を減らすことは妥当と考える。

「医療的ケア（演習）」：２１ｈ → ３３ｈ（＋１２ｈ）

「医療的ケア（学科）」：５７ｈ → ５１ｈ（－６ｈ）

「社会の理解Ⅱ（学科）」：３６ｈ → ３０ｈ（－６ｈ）

・介護実習については、時間増を図るとともに導入時期と完了時期での２回に分けて行うことにより、就労へのつながりや受講生本人の成長及び振り返りができると考えられる。

「介護実習」：１２ｈ → ３６ｈ（＋２４ｈ：前期１２ｈ＋後期２４ｈ）

「生活支援技術Ⅱ（学科）」：１０ｈ → ４ｈ（－６ｈ）

「生活支援技術Ⅱ（実技）」 : 32h → 26h（－6h）
「こころとからだのしくみⅠ」 : 30h → 24h（－6h）
「こころとからだのしくみⅡ」 : 66h → 60h（－6h）

・介護調理については、時間増を検討することで、より完成度（仕上がり像）の向上が見込めるが、介護実務者研修との訓練時間のバランス及び施設確保等の諸要因により、6か月の訓練コースでは、今以上の時間増は困難であるとする。

○その他

- ・今回の訓練では受講生に初心者と経験者が混在していた。そのような場合、用語集などの補足資料を充実させたり、未経験者への十分なフォローアップをするなどの配慮をすることが必要である。
- ・共有教材を使用する場合には、定められた基準数を満たしていたとしても、十分な事前説明をしておくことが不満などの減少につながる。

◆栃木県へ普及するに当たって

栃木県の委託訓練として介護実務者研修を実施する際には、国の定める規定の時間数をクリアする必要があるため、最低でも6ヶ月訓練として設定する必要がある。

また、受講生がやむを得ず欠席することをある程度想定し、科目毎に総括の時間として余裕時間数を確保することが望ましい。

また、介護現場では、大きな施設でない限り調理の知識のない現場スタッフが調理に携わることがあるという実状から、本訓練の中で食品衛生の知識と調理実習を設けていた。介護実務者研修の規定科目外ではあるが、可能であれば、以上のことを踏まえたカリキュラム設定が望ましい。

5 本事業の成果物について

本事業の成果物として、コンソーシアムにおいて開発した上記3の離職者向け訓練コースが離職者訓練のカリキュラムとして効果的な内容となっているか、委託訓練の実施を通じて検証し、その結果を踏まえてモデルカリキュラムとして取りまとめた。

●販売・接客プロスタッフ養成科

検証訓練の結果を踏まえ、【経営基礎・管理会計】の時間数を6時間増やすこととする。

これにより、運営責任者として経営分析や売買損益の習得度を高めることができ、将来地元で開業できるような人材ニーズに応える訓練コースとする。

なお、訓練実施に当たっての留意事項は以下のとおりである。

(1) 学科

- ①小売販売店等に求められる接客能力、販売能力、店舗管理、運営の知識を習得させる。
- ②店舗においても外国語による接客が求められることから、基礎語学として英語・中国語・韓国語（もしくは、地域の実情に合わせ1か国語としても可）の接客フレーズを習得させる。

(2) 実技

- ①接客・販売に必須となるコミュニケーションについては、知識だけではなく実際に出来るようにするための演習を行う。
また、接客外国語についても、接客フレーズのロールプレイを行い習得できるようにする。
- ②実際の店舗を職場調査することにより、店舗のタイプ毎の特色を理解させた上で、仮説商品による事業計画立案、マーケティング、商圈分析等を行い、仮想店舗の出店計画を演習にて行う。

(3) 就職支援

訓練期間中3回以上のキャリアコンサルティング以外にも、受講生の就職先の希望や応募のタイミングに応じて相談支援を行うことが望ましい。

また、ハローワークと訓練実施機関、職業能力開発促進センターとが「職業相談連絡票」を活用して連携し、就職支援の方向性を合わせ情報共有しながら、訓練開始から訓練終了まで継続して行うことが効果的である。

(4) 関連資格等

任意受験によって取得可能な資格は、以下を想定している。

- ・リテールマーケティング（販売士）2級、3級

訓練計画を立てる際には、上記資格の試験日程を考慮したカリキュラム設定が必要であり、訓練効果を高めることが期待できる。

今回のコースにおける実績としては、下記のとおりである。

販売士2級 合格率71.4% 受験者数14人 合格者10人

販売士3級 合格率66.7% 受験者数3人 合格者2人

●介護実務者研修・介護調理科

検証訓練の結果を踏まえ、【医療的ケア（演習）】の時間を12時間、【介護実習】の時間を24時間それぞれ増やし、【医療的ケア（学科）】、【社会の理解Ⅱ（学科）】、【生活支援技術Ⅱ（学科）】、【生活支援技術Ⅱ（実技）】、【こころとからだのしくみⅠ】、【こころとからだのしくみⅡ】の時間数を6時間ずつ減らすこととする。

医療的ケア（演習）は、より完成度（仕上がり像）の向上を図ることができ、介護実習は就労へのつながりが期待できる。

また、訓練全体を通して、介護に必要な知識と各種演習を通じてサービス提供責任者として即戦力となる人材を育成する訓練コースとする。

なお、訓練実施に当たっての留意事項は以下のとおりである。

(1) 学科

介護における各種保険制度、介護福祉士制度、コミュニケーションのあり方、からだのしくみ、医療的ケアなど実務者研修にて必須となる科目の知識を確実に習得させる。

(2) 実技

- ①医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養）を演習にて実践し、その手順を習得させる。
- ②就労へのつながりや受講生本人の成長及び振り返りに役立つと考えられることから介護実習を導入時期と完了時期の2回に分けて行う。
- ③介護調理についても、大きな施設でない限り現場のスタッフが調理に携わる実状があることから、食品衛生の知識と調理実習を通じて、介護者の状態に応じた調理方法を習得させる。

(3) 就職支援

- ①介護実習において、形態の違う介護施設を数多く経験させることで、就労先の絞り込みに役立つ。
- ②ハローワークと訓練実施機関、ポリテクセンターとが「職業相談連絡票」を活用して連携し、就職支援の方向性を合わせ情報共有しな

がら、訓練開始から訓練終了まで継続して行うことが効果的である。
また、「職業相談連絡票」は、受講生本人の振り返りにも役立つ。

（４）関連資格等

- ①訓練修了時に与えられる資格として
 - ・介護実務者研修修了
- ②現場経験によって取得可能な資格（任意受験）
 - ・介護福祉士（受講生の内、２人受験(H29. 1. 29)、発表:3 月末)

訓練計画を立てる際には、上記資格の試験日程を考慮したカリキュラム設定が必要であり、訓練効果を高めることが期待できる。

なお、コースごとに①委託訓練モデルカリキュラム、②科目の内容・細目シート、③使用教材リストに整理し、別添のとおり資料集として取りまとめたので、ご活用いただきたい。

資料集

I 販売分野

「販売・接客プロスタッフ養成科」関連資料一覧

資料１－１ 委託訓練モデルカリキュラム

資料１－２ 科目の内容・細目シート

資料１－３ 使用教材リスト

II 介護分野

「介護実務者研修・介護調理科」関連資料一覧

資料２－１ 委託訓練モデルカリキュラム

資料２－２ 科目の内容・細目シート

資料２－３ 使用教材リスト

委託訓練モデルカリキュラム

訓練科名		販売・接客プロスタッフ養成科		就職先の職務	小売り、流通業、販売業、観光業等 ショップにおける販売スタッフ、ショッ プスタッフ、店舗管理スタッフ、バイ ヤー、運営責任者等	
訓練期間		平成 年 月 日～ 平成 年 月 日 (6ヶ月)				
訓練目標		① 小売販売店等に求められる接客能力、販売能力の習得 ② 商品の見極めや集客および顧客の再来店を促す店舗作りのための知識の習得 ③ パソコンによるマーケティング分析、広報宣伝、POP、店舗デザイン、マネジメント としての店舗管理・運営のためのスキル獲得 ④ 社会人としての基礎力、接客のための基礎語学（英語・中国語・韓国語）習得				
仕上がり像		職業人としての一般常識、コンプライアンス意識、リスク管理の習得とともに、外国人 を含むコミュニケーションスキルやパソコン技能、接客・販売サービスや営業販売の基 礎を習得し、販売員としておよび販売管理者として環境社会にも配慮した適切な業務運 営管理ができ、さらに適応する資格取得および独立・開業する際の基本的知識までを取 得、即戦力のビジネスパーソンとなれる人材を育成する。				
訓練 の 内 容	科 目		科 目 の 内 容		時 間	
	学 科	入所式等	入所式、修了式、オリエンテーション等			
		接客・販売能力	接客応対の基本技術対応、販売促進技術、クレーム対応、返品対応		36	
		店舗戦略	需要創造、顧客データによるマーケティング手法(FSP)、広告・宣伝		42	
		商品戦略	商品の定義と品質、商品分析、商品カテゴリー、品目ミックス		42	
		店舗運営	ストアオペレーションの基本、マーチャンダイジングの流れ、POS、EOS		42	
		経営基礎、管理会計	販売管理に伴う業務、小売業の利益の種類、売買損益の計算、経営分析		48	
		開業知識	独立・開業する際の知識、集客ノウハウ、創業のリスク等		24	
		接客外国語	外国語（英語・中国語・韓国語）による接客に必要なフレーズの習得		109	
		社会人基礎	ビジネスマナー、労働関係法基礎、コンプライアンス意識、リスク管理等		42	
		就職支援	自己紹介、履歴書の書き方、面接指導、キャリアコンサルティング、就職講 話等		60	
	安全衛生	VDT作業、販売員としての必要な安全衛生知識、防災訓練、環境社会配慮		6		
	実 技	接客・販売演習	接客・販売総合演習(店舗接客応対演習、クレーム対応や返品対応の事例研 究と対応方法等)		36	
		店舗・商品戦略演習	店舗・商品戦略総合演習(仮説商品による事業計画立案、マーケティング・ 商圈分析等の事例研究、企画案発表等)		30	
		店舗運営演習	店舗運営演習(マーチャンダイジング、ストアオペレーション演習等)		36	
		接客外国語	外国語（英語・中国語・韓国語）による接客に必要なフレーズの習得（ロー ルプレイ）		41	
		総合課題演習	販売士3級、販売士2級の知識取得を中心にした課題演習		21	
		パソコン演習	ビジネス文書作成(Word 2013)、表計算作成、データベース(ピボットテーブ ル)機能(Excel 2013)、プレゼンテーション資料作成(PowerPoint 2013)……OP、チラシ、DM作成、日報、データ分析・報告書作成等		48	
		職場調査演習	近隣の小売店や、デパート等に出向いての現地調査、ストアコンパリゾン、 店舗作りの基礎調査、グループディスカッション、発表プレゼンテーション 等の実習		24	
		職場体験	接客業務体験(体験先：東武宇都宮百貨店)		12	
	振替総合課題演習		総合課題演習と同等		12	
訓練時間総合計		学科	451	実技	260	711
主要な機器設備 (参考)		パソコン一式各自1台(Windows10、Office2013Std.)、ホワイトボード プロジェクタ、レーザープリンタ、インターネット接続環境、実習用POSレジ サーバー（ファイル）				

科目の内容・細目シート索引

シート番号	科 目	
H201	接客・販売能力	
H202	店舗戦略	
H203	商品戦略	
H204	店舗運営	
H205	経営基礎・管理会計	
H206	開業知識	
H207	接客外国語	
H208	社会人基礎	
H209	就職支援	
H210	安全衛生	
H211	接客・販売演習	
H212	店舗・商品戦略演習	
H213	店舗運営演習	
H214	総合課題演習	
H215	パソコン演習	
H216	職場調査演習	
H217	職場体験	
H218	振替総合課題演習	

科目の内容・細目シート

科目	商品戦略	時間	42			
到達水準	商品の定義と品質を理解し、商品カテゴリー構成と品目ミックスを適切に行うことができる。					
	マーケティング・商圈分析に基づき、店舗・商品の企画立案を行うことができる。					
科目の内容	内容の細目	訓練時間				
		学科	実技			
1. 商品の定義と品質	イ.マーチャンダイジング	3				
	ロ.商品の評価とサービス	3				
	ハ.商品コンセプト	3				
	ニ.商品計画	3				
2. 商品分析	イ.商品情報と消費者情報	3				
	ロ.消費財の分類	3				
	ハ.仕入情報の種類	3				
	ニ.仕入情報の活用	3				
3. 商品カテゴリー	イ.交叉比率	3				
	ロ.プロモーション	3				
	ハ.商品カテゴリーごとの売り上げ計画プロセス	3				
	ニ.商品カテゴリーごとの粗利計画プロセス	3				
4. 品目ミックス	イ.商品構成の原則	3				
	ロ.商品分類の概念	3				
		合計				
		42				
使用する機械 器具等						
備考						

科目の内容・細目シート

科目	店舗運営	時間	42	
到達水準	マーチャンダイジング、ストアオペレーションを適切に行うことができる。			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
1. ストアオペレーションの基本	イ. 効果的朝礼の実施方法	3		
	ロ. 発注システムの運用と管理	3		
	ハ. 商品の補充	3		
	ニ. 売場のチェックポイント	3		
2. マーチャンダイジングの流れ	イ. マーチャンダイジングサイクル	3		
	ロ. サプライチェーンの効率化	3		
	ハ. 流通情報化　SCMラベル	3		
	ニ. 流通情報化　ITFコード	3		
3. POS. EOS	イ. ITの進展とマーチャンダイジングの進化	3		
	ロ. POSとEOS	3		
	ハ. サプライチェーンの構成	3		
	ニ. VANとQRの仕組み	3		
	ホ. POSとEOSシステムの活用方法	3		
	ヘ. 販売分析	3		
	合計	42		
使用する機械 器具等				
備　　考				

科目の内容・細目シート

科目	接客外国語	時間	150	
到達水準	英語での接客に必要な基本的フレーズをマスターしている。			
	中国語での接客に必要な基本的フレーズをマスターしている。			
	韓国語での接客に必要な基本的フレーズをマスターしている。			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
1. 外国語（英語・中国語・韓国語）による接客に必要なフレーズの習得（英語）	イ. 基本ビジネス英会話（音声データヒアリング） ロ.” Staff & Customer” ロールプレイ ハ. 接客英会話フレーズ発声練習 ニ. 英単語とその発音イントネーション発声練習 ホ. 英作文ライティング練習 ヘ. 接客英文のヒアリング ト. ネイティブスピーカーとの接客ロールプレイ チ. よく使われる接客フレーズヒアリングと発声	76	25	
2. 外国語（英語・中国語・韓国語）による接客に必要なフレーズの習得（中国語）	イ. 中国語文法と発音（ピンインの活用） ロ. 接客フレーズのヒアリング&発声練習 ハ. ネイティブスピーカーとの接客ロールプレイ ニ. 中国語圏の歴史・文化について	16	8	
3. 外国語（英語・中国語・韓国語）による接客に必要なフレーズの習得（韓国語）	イ. 韓国語文法と発音 ロ. 接客フレーズのヒアリング&発声練習 ハ. ネイティブスピーカーとの接客ロールプレイ ニ. 韓国の歴史・文化について	17	8	
		合計	109	41
使用する機械器具等	パソコン接続イヤホン×22、パソコン接続Bluetoothスピーカ×1			
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	社会人基礎	時間	42
到達水準	ビジネスマナーを心得ている。マナーに基づいた社会人としての行動をとることができる。		
	労働関係法規を遵守し、適切な雇用関係を実現できる。		
	小売販売業務におけるリスク管理を適切に行うことができる。		
	責任あるコンプライアンス意識を持って小売販売業務全般を行うことができる。		
科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科 実技	
1. ビジネスマナー	イ. 自己紹介	1	
	ロ. コミュニケーションマナー	10	
	ハ. 基本姿勢	2	
	ニ. 接客基本用語、挨拶	1	
	ホ. 名刺交換、コミュニケーション基本	3	
	ヘ. ビジネス敬語基本	1	
	ト. ビジネス基礎英語	15	
2. 労働関係法基礎	イ. 労働関係法規	2	
	ロ. 労務管理の現状	1	
	ハ. 就業規則	1	
3. コンプライアンス意識	イ. 労務管理の基礎知識	3	
	ロ. 書類送検事例	1	
4. リスク管理	イ. リスクアセスメント	1	
	合計	42	
使用する機械 器具等			
備考			

科目の内容・細目シート

科目	就職支援	時間	60	
到達水準	ビジネスマナーを踏まえた自己アピールを行うことができる。			
	自己のスキルチェックと理解によるキャリアビジョンを描くことができる。			
	自己のアピールポイントを明確にした応募書類を作成することができる。			
	面接時の心得・留意点、面接前後のマナー・手順を理解し、就職活動に臨むことができる。			
	キャリアプランに基づいた自主的な情報収集ができ、早期就職への自らの意識喚起ができる。			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
1. ビジネスマナー	イ. 自己紹介 ロ. 基本挨拶 ハ. ビジネス敬語、電話応対、話し方、聞き方 ニ. 仕事のすすめ方、ハウレンソウ、ビジネス文書 ホ. 名刺交換～自己紹介・ロールプレイ	6		
2. スキルチェックと自己理解	イ. スキルの棚卸 ロ. キャリアビジョン	6		
3. 履歴書、職務経歴書、送り状の書き方	イ. 自己のアピールポイント掘り起こし ロ. 履歴書、職務経歴書、送り状の書き方	12		
4. 面接指導、就職活動指導	イ. 面接時の心得 ロ. 面接前後のマナー ハ. 就活メイクアップ ニ. 面接ロールプレイ	14		
5. キャリアコンサルティング	イ. キャリアプラン考察 ロ. キャリアカウンセリング ハ. ジョブ・カード交付	18		
6. 就職講話	企業人事担当者等による就職講話・懇談	2		
7. 企業説明会	企業説明会（派遣会社による派遣登録会および求人ニーズ説明会）	2		
		合計	60	
使用する機械 器具等				
備 考	※個別就職相談は放課後あるいは休憩時間を利用して随時行う。			

科目の内容・細目シート

科目	接客・販売演習	時間	36	
到達水準	接客対応の基本技術対応ができる。			
	クレーム対応や返品対応を適切に行うことができる。			
科目の内容	内容の細目		訓 練 時 間	
		学科	実技	
1. 店舗接客対応演習	イ. ビジネス敬語演習			3
	ロ. 接客基本用語演習			3
	ハ. 接客ロールプレイ			6
	ニ. ラッピング技術演習			6
2. クレーム対応や返品対応の事例研究と対応方法の演習	イ. クレーム事故についてのグループワーク			6
	ロ. 返品ケーススタディ			6
	ハ. 返品、返金の方針についてのグループワーク			6
		合計		36
使用する機械器具等	POSレジ			
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	総合課題演習	時間	21			
到達水準	小売業の類型、マーチャンダイジング問題演習を行い、合格水準に達している。					
	ストアオペレーション、マーケティング問題演習を行い、合格水準に達している。					
	販売・経営管理問題演習を行い、合格水準に達している。					
科目の内容	内容の細目	訓練時間				
		学科	実技			
1. 販売士3級、販売士2級の知識取得を中心にした課題演習	イ. 小売業の類型問題演習 ロ. マーチャンダイジング問題演習 ハ. ストアオペレーション問題演習 ニ. マーケティング問題演習 ホ. 販売・経営管理問題演習		21			
使用する機械器具等						
備考						
		合計		21		

科目の内容・細目シート

科目	職場調査演習	時間	24	
到達水準	店舗作りの基礎調査を行うことができる。			
科目の内容	内容の細目		訓 練 時 間	
		学科	実技	
1. 近隣の小売店や、デパート等に出向いての現地調査、ストアコンパリゾン、店舗作りの基礎調査、グループディスカッション、発表プレゼンテーション等の実習	イ. ストアコンパリゾンのポイント、店舗作りの基礎調査			10
	ロ. ストアコンパリゾン実施			2
	ハ. ストアコンパリゾン分析			6
	ニ. ストアコンパリゾン成果発表（PowerPointプレゼンテーション）、ディスカッション			6
			合計	24
使用する機械器具等				
備 考	※近隣調査先へ調査訓練主旨説明し、承諾を得る。			

科目の内容・細目シート

科目	振替総合課題演習	時間	12			
到達水準	小売業の類型、マーチャンダイジング問題演習を行い、合格水準に達している。					
	ストアオペレーション、マーケティング問題演習を行い、合格水準に達している。					
	販売・経営管理問題演習を行い、合格水準に達している。					
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間				
		学科	実技			
1. 販売士3級、販売士2級の知識取得を中心にした課題演習	イ. 小売業の類型問題演習 ロ. マーチャンダイジング問題演習 ハ. ストアオペレーション問題演習 ニ. マーケティング問題演習 ホ. 販売・経営管理問題演習		12			
使用する機械器具等		合計	12			
備 考	※科目実技「総合課題演習」と同等。「職場体験実技」との振替科目					

使用教材リスト

訓練科名：販売・接客プロスタッフ養成科

教材名	出版社名	教材使用科目（分野）
接客・接遇のための ユニバーサルサービス 基本テキスト	日本能率協会 マネジメント センター	社会人基礎 接客・販売能力 接客・販売演習
接客の教科書	すばる舎	接客・販売能力 接客・販売演習 店舗運営演習、安全衛生
店長の教科書	すばる舎	店舗戦略、店舗運営 商品戦略、安全衛生 経営基礎、管理会計 接客・販売演習、店舗運営演習
売り場の教科書	すばる舎	店舗戦略、店舗運営 商品戦略、安全衛生 店舗運営演習
販売士2級一発合格テキスト問題集	翔泳社	店舗運営 経営基礎、管理会計 総合課題演習、振替総合課題演習
マーケティング戦略 第4版 (有斐閣アルマ)	有斐閣	店舗戦略・商品戦略 店舗・商品戦略演習
すぐに使える接客英会話 大特訓	Jリサーチ出版	接客外国語
英・中・韓・3カ国語の すぐに使えるやさしい接客会話	中央経済社	接客外国語
レストラン・お店で使う 英・中・韓 きほん接客フレーズ	研究社	接客外国語
Microsoft Word 2013 & Microsoft Excel 2013 & Microsoft PowerPoint 2013	FOM	パソコン演習
接客外国語音声データ	研究社・中央経済社	接客外国語（英語・中国語・韓国語）

※上記については、特定の出版社および書籍の宣伝や推奨をするものではありません。最終判断はご利用者自身となりますのでご注意ください。各教材の詳細情報や最新情報を取得したい場合は、出版社情報等を参考に各自でお問い合わせください。

委託訓練モデルカリキュラム

訓練科名		介護実務者研修・介護調理科	就職先の職務	施設介護職員 訪問介護員 介護現場におけるサービス提供責任者
訓練期間		平成 年 月 日～ 平成 年 月 日 (6か月)		
訓練目標		介護現場におけるサービス提供責任者として、働く上で必要となる介護技術や福祉全般の知識、介護現場における調理の技法、食品衛生の知識に加え、医療等の関連知識・技術を習得し、適切な医療的ケアが実践できるようになる。		
仕上がり像		訪問介護及び施設介護の実務者に必要な幅広い知識・技能・技術を習得し、介護調理の基礎的技術を幅広く学んだ上で、訪問介護職、施設介護職の仕事に従事することができる人材の養成。		
訓練の内容	科 目		科 目 の 内 容	時 間
	学 科	開講式等 就職支援	開講式・オリエンテーション・修了式 就職活動の進め方と求人情報収集の仕方、ジョブカードの書き方、模擬面接、履歴書の書き方、合同企業説明会、就職講話	30
		安全衛生	介護における安全衛生対策、安全教育	3
		職業能力基礎講習	アイスブレイク・自己開示、ビジネスマナー、コミュニケーションの基本・自分の強み弱みの表現	21
		人間の尊厳と自立	人間の多面的な理解と尊厳、自立・自律の支援、人権と尊厳	6
		人間の尊厳と自立（総括）	人間の多面的な理解と尊厳、自立・自律の支援、人権と尊厳	6
		社会の理解Ⅰ	介護保険制度創設の背景と目的、介護保険制度の基礎的理解、介護保険制度における専門職の役割	6
		社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践にかかわる諸制度	30
		社会の理解Ⅰ・Ⅱ（総括）	介護保険制度創設の背景と目的、介護保険制度の基礎的理解、介護保険制度における専門職の役割、生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践にかかわる諸制度	6
		介護の基本Ⅰ	介護福祉士の制度、尊厳の保持・自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理	12
		介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全	24
		介護の基本Ⅰ・Ⅱ（総括）	介護福祉士の制度、尊厳の保持・自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理、介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全	6
		コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	10
		コミュニケーション技術 （総括）	介護におけるコミュニケーション、介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	1
		生活支援技術Ⅰ	生活支援とＩＣＦ、移動・移乗の介護技術の基本、食事の介護技術の基本、入浴・清潔保持の介護技術の基本、排泄の介護技術の基本、着脱、整容、口腔清潔の介護技術の基本、家事援助の基本	9
		生活支援技術Ⅱ	睡眠の介護、終末期の介護	4
		介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的理解	20
		介護過程Ⅱ	介護過程の展開の実際	6
		介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実践	9
		介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ （総括）	介護過程の基礎的理解、介護過程の展開の実際、介護過程の展開の実践	1
		発達と老化の理解Ⅰ	こころの変化と日常生活への影響、からだの変化と日常生活への影響	12
		発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多くみられる症状・疾病等	21
		発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ （総括）	こころの変化と日常生活への影響、からだの変化と日常生活への影響、人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多くみられる症状・疾病等	6
		認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念と視点、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本	12
		認知症の理解Ⅱ	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際	16
		認知症の理解Ⅰ・Ⅱ （総括）	認知症ケアの理念と視点、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本、医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際	6

科 目		科 目 の 内 容			時 間	
訓練の内容	学 科	障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児・者や家族へのかかわり・支援の基本			12
		障害の理解Ⅱ	医学的側面からみた障害の理解、障害児・者への支援の実際			24
		障害の理解Ⅰ・Ⅱ（総括）	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児・者や家族へのかかわり・支援の基本、医学的側面からみた障害の理解、障害児・者への支援の実際			6
		こころとからだのしくみⅠ	移動・移乗に関連するからだのしくみ、食事に関連するからだのしくみ、入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ、排泄に関連するからだのしくみ、着脱、整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ			24
		こころとからだのしくみⅠ（総括）	各状態におけるからだのしくみ			3
		こころとからだのしくみⅡ	人間の心理、人体の構造と機能、移動・移乗における観察のポイント、食事における観察のポイント、入浴・清潔保持における観察のポイント、排泄における観察のポイント、着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント、睡眠における観察のポイント、終末期における観察のポイント			60
		こころとからだのしくみⅡ（総括）	人間の心理、人体の構造と機能、各状態における観察のポイント			6
		医療的ケア	医療的ケア、安全な療養生活、清潔保持と感染予防、健康状態の把握、喀痰吸引概論、喀痰吸引実施手順解説、経管栄養概論、経管栄養実施手順解説			51
		医療的ケア（総括）	医療的ケア、安全な療養生活、清潔保持と感染予防、健康状態の把握、喀痰吸引概論、喀痰吸引実施手順解説、経管栄養概論、経管栄養実施手順解説			6
		食品衛生管理の基礎知識	食品衛生責任者の役割、食中毒の基礎知識、食品の衛生的な取り扱い、自主管理の推進			5
		調理全般に関する基礎知識	調理器具管理、食材管理			5
	実 技	コミュニケーション技術	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション			14
		コミュニケーション技術（総括）	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション			5
		生活支援技術Ⅰ	居住環境の整備と福祉用具の活用、移動・移乗の介護技術の基本、食事の介護技術の基本、入浴・清潔保持の介護技術の基本、排泄の介護技術の基本、着脱、整容、口腔清潔の介護技術の基本、家事援助の基本			12
		生活支援技術Ⅱ	移動・移乗の介護、食事の介護、入浴・清潔保持の介護、排泄の介護、着脱、整容、口腔清潔の介護、睡眠の介護			26
		生活支援技術Ⅰ・Ⅱ（総括）	居住環境の整備と福祉用具の活用、各種介護技術の基本と介護、家事援助の基本			6
		介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的理解			8
		介護過程Ⅱ	介護過程の展開の実際			19
		介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実践			37
		介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（総括）	介護過程の基礎的理解、介護過程の展開の実際、介護過程の展開の実践			5
		認知症の理解Ⅱ	認知症の人や家族への支援の実際			8
		医療的ケア（演習）	喀痰吸引のケア実施の手引き、経管栄養のケア実施の手引き			33
		救急法	心肺蘇生法、AED使用法			3
		介護調理実習	各野菜の洗い方、鮮度を保つ保存方法に関する実習、各野菜の基本的な切り方、皮のむき方実習、魚介類の適切な仕分け、道具の準備、魚介類の水洗い作業、魚介類のおろし方実習、魚以外の特殊食材の処理、適切な塩ふり、刺身のあしらいの準備、盛り込み・だし汁の準備・引き方、食材の味付け、吸物の味付け、煮物の野菜・肉・魚の味付け、焼き物・揚げ物の味付け実習			20
		介護実習	介護現場実習（施設サービス実習、通所サービス実習.）			36
訓練時間総合計		学科	485	実技	232	717
主要な機器設備 （参考）		実習用モデル人形、人体骨格模型、成人用ベッド、移動用リフト、スライディングボード、 マット、車いす、簡易浴槽、ストレッチャー、排せつ用具、歩行補助つえ、盲人安全つえ 視聴覚機器、障害者用調理器具・食器類、和式布団一式、吸引装置一式 経管栄養用具一式、処置台またはワゴン、吸引訓練モデル、経管栄養訓練モデル、心肺蘇生訓練用機材一式、人体解剖模型				

科目の内容・細目シート索引

シート番号	科 目	
K201	就職支援	
K202	安全衛生	
K203	職業能力基礎講習	
K204	人間の尊厳と自立	
K205	人間の尊厳と自立（総括）	
K206	社会の理解Ⅰ	
K207	社会の理解Ⅱ	
K208	社会の理解Ⅰ・Ⅱ（総括）	
K209	介護の基本Ⅰ	
K210	介護の基本Ⅱ	
K211	介護の基本Ⅰ・Ⅱ（総括）	
K212	コミュニケーション技術	
K213	コミュニケーション技術（総括）	
K214	生活支援技術Ⅰ	
K215	生活支援技術Ⅱ	
K216	介護過程Ⅰ	
K217	介護過程Ⅱ	
K218	介護過程Ⅲ	
K219	介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（総括）	
K220	発達と老化の理解Ⅰ	
K221	発達と老化の理解Ⅱ	
K222	発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ（総括）	
K223	認知症の理解Ⅰ	
K224	認知症の理解Ⅱ	
K225	認知症の理解Ⅰ・Ⅱ（総括）	
K226	障害の理解Ⅰ	
K227	障害の理解Ⅱ	
K228	障害の理解Ⅰ・Ⅱ（総括）	
K229	こころとからだのしくみⅠ	
K230	こころとからだのしくみⅠ（総括）	
K231	こころとからだのしくみⅡ	
K232	こころとからだのしくみⅡ（総括）	
K233	医療的ケア	
K234	医療的ケア（総括）	
K235	食品衛生管理の基礎知識	
K236	調理全般に関する基礎知識	
K237	生活支援技術Ⅰ・Ⅱ（総括）	
K238	医療的ケア（演習）	
K239	救急法	
K240	介護調理実習	
K241	介護実習	

科目の内容・細目シート

科目	就職支援	時間	30
到達水準	・介護業界の雇用状況を理解することができる		
	・自らの目標に対し、採用面接時に正しい態度が取れる、受け答えができる		
	・就職に向け、自ら活動することができる		
科目の内容	内容の細目	訓練時間	
		学科	実技
ジョブ・カードの書き方	・ジョブ・カードの必要性 ・ジョブ・カード記入のポイント・作成	6	
履歴書の書き方	・履歴書作成のポイント・作成 ・職務経歴書作成のポイント・作成	6	
模擬面接	・面接時の姿勢、おじぎの実践 ・観察者からのフィードバック ・面接の心構え、マナー、事前準備、受け答えについて	6	
就職活動の進め方と求人情報収集の仕方	・情報収集の重要性と必要性 ・求人情報収集の仕方 ・就職活動の計画を立てる	6	
合同企業説明会	・障害者支援施設・障害児入所施設、特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、グループホームの企業から説明を受ける。	3	
就職講話	・介護現場で求められる人材 ・介護業界の求人現況について	3	
	合計	30	
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン		
備考			

科目の内容・細目シート

科目	安全衛生	時間	3
到達水準	・安全衛生の知識の向上を図ることができる		
	・職場における作業を安全に行うことができる		
	・腰痛予防の重要性について理解ができる		
	・身体の健康管理をすることができる		
科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科実技	
【安全教育】 安全衛生	・ストレスに対する自己診断チェックシート ・ハインリヒの法則 ・安全衛生教育について	1	
こころの健康の保持増進	・身体の健康管理 ・腰痛予防のための三管理	1	
【介護における安全衛生対策】 職場のメンタルヘルスの考え方	・感染予防・腰痛予防について ・職場のストレスモデル ・労働者の心の健康の保持増進のための指針	1	
	合計	3	
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン		
備考			

科目の内容・細目シート

科目	職業能力基礎講習	時間	21	
到達水準	・クラスの良い雰囲気づくりができる			
	・傾聴とアサーションができる			
	・就職の心構えと、社会人として必要なマナーを習得するための姿勢について理解できる			
	・企業情報にはどのような事項が含まれるのか、情報を収集する際に留意すべき点について理解できる			
	・セルフワークをとおして自分の『受講動機』を記述することができる			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
アイスブレイク・自己開示	・他己紹介 ・自己開示の概要 ・第三者に自分自身を語る	3		
コミュニケーションの基本	・コミュニケーションの基本（自分の強み・弱みの表現） ・コミュニケーションの重要性 ・アサーション	6		
ビジネスマナー	・組織で働くということ ・マナーの重要性 ・マナーの実践（身だしなみ・姿勢・挨拶・敬語）	6		
企業に関する情報収集	・情報の一般原則 ・企業に関する情報の内容 ・企業情報の収集と情報交換	3		
受講動機能力を伸ばす方向性の明確化	・受講動機の記述 ・受講動機、能力を伸ばす方向性の明確化の発表	3		
合計		21		
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン			
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	人間の尊厳と自立	時間	6	
到達水準	・ 尊厳の保持、自立・自律の支援について知っている			
	・ ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護について知っている			
科目の内容	内容の細目		訓 練 時 間	
		学科	実技	
人間の多面的な理解と尊厳	・ 人間を理解すること ・ 人間の尊厳の意義 ・ 人権、そして尊厳をめぐる歴史的経緯 ・ 人権、そして尊厳に関する諸規定 ・ 介護における自立 ・ 自立への意欲と動機づけ ・ 自立した生活を支えるための援助の視点 ・ 介護における自立支援の実践 ・ 介護における権利擁護と人権尊重 ・ 介護における尊厳保持の実践 ・ 尊厳を無視した介護の課題	2		
自立・自律の支援		2		
人権と尊厳		2		
		合計	6	
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン			
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	社会の理解 I	時間	6
到達水準	・介護保険制度の体系、目的について知っている		
	・介護保険制度のサービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担について知っている		
	・介護保険制度における専門職の役割について知っている		
科目の内容	内容の細目	訓練時間	
		学科	実技
介護保険制度創設の背景と目的	・介護保険制度の創設をめぐる社会的背景 ・1990年代までの高齢者介護の制度と社会福祉基礎構造改革 ・介護保険制度の基本理念	1	
介護保険制度の基礎的理解	・介護保険制度の概要 ・保険者・被保険者 ・保険給付の対象者 ・保険給付までの流れ ・保険給付の種類と内容 ・地域支援事業 ・国・都道府県・市町村の役割 ・その他の組織の役割 ・介護保険の財政	3	
介護保険制度における専門職の役割	・介護職の役割 ・介護支援専門員の役割 ・その他の専門職の役割	2	
	合計	6	
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン		
備考			

科目の内容・細目シート

科目	社会の理解Ⅱ	時間	30	
到達水準	・ 家族、地域、社会との関連から生活と福祉について理解している			
	・ 社会保障制度の発達、体系、財源等について知っている			
	・ 障害者自立支援制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割について知っている			
	・ 成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関連する制度の概要について知っている			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
生活と福祉	・ 家庭生活の基本機能 ・ 家族 ・ 地域 ・ 社会集団と組織 ・ ライフスタイルの変化	6		
社会保障制度	・ 社会保障の役割と意義 ・ 社会保障の目的と機能 ・ 社会保障の範囲と対象 ・ わが国の社会保障制度のしくみ ・ 年金保険 ・ 医療保険 ・ 後期高齢者医療制度 ・ 雇用保険 ・ 労働者災害補償保険 ・ 公的扶助 ・ 社会手当 ・ 社会福祉	6		
障害者自立支援制度	・ 障害者自立支援法から障害者総合支援法へ ・ サービスの種類と内容 ・ サービスの利用と流れ ・ 自立支援給付と利用者負担 ・ 障害者自立支援制度における事業者と施設 ・ 障害者自立支援制度における組織・団体の機能と役割 ・ ライフサイクルから見た支援組織	12		
介護実践にかかわる諸制度	・ サービスの利用にかかわる諸制度 ・ 虐待防止の諸制度 ・ 人々の権利を擁護するその他の諸制度 ・ 保健医療にかかわる諸制度 ・ 医療にかかわる諸制度 ・ 生活を支える諸制度 ・ 住生活を支援する諸制度	6		
		合計	30	
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン			
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	社会の理解Ⅰ・Ⅱ（総括）	時間	6	
到達水準	・介護保険制度の体系、目的について知っている			
	・介護保険制度のサービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担について知っている			
	・介護保険制度における専門職の役割について知っている			
	・家族、地域、社会との関連から生活と福祉について理解している			
	・社会保障制度の発達、体系、財源等について知っている			
	・障害者自立支援制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割について知っている			
	・成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関連する制度の概要について知っている			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
介護保険制度創設の背景と目的	介護保険制度創設の背景と目的について、ポイント解説・指導	0.5		
介護保険制度の基礎的理解	介護保険制度の基礎的理解について、ポイント解説・指導	1		
介護保険制度における専門職の役割	介護保険制度における専門職の役割について、ポイント解説・指導	0.5		
生活と福祉	生活と福祉について、ポイント解説・指導	1		
社会保障制度	社会保障制度について、ポイント解説・指導	1		
障害者自立支援制度	障害者自立支援制度について、ポイント解説・指導	1		
介護実践にかかわる諸制度	介護実践にかかわる諸制度について、ポイント解説・指導	1		
	合計	6		
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン			
備考				

科目の内容・細目シート

科目	介護の基本Ⅰ	時間	12			
到達水準	・介護福祉士制度の沿革、法的な定義・業務範囲・義務について知っている					
	・個別ケア、ＩＣＦ、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセスについて理解している					
	・介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度等を理解している					
科目の内容	内容の細目	訓練時間				
		学科	実技			
介護福祉士の制度	・介護福祉士を取り巻く状況 ・社会福祉士及び介護福祉士法	3				
尊厳の保持・自立に向けた介護の考え方と展開	・利用者に合わせた生活支援 ・自立に向けた支援 ・介護の専門性	3				
介護福祉士の倫理	・介護福祉士としての倫理の必要性 ・日本介護福祉士会倫理綱領	6				
合計		12				
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン					
備考						

科目の内容・細目シート

科目	介護の基本Ⅱ	時間	24
到達水準	・介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握している ・チームアプローチにかかわる職種や関係機関の役割、連携方法について知っている ・リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保について知っている ・介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策について知っている		
科目の内容	内容の細目	訓練時間	
		学科	実技
介護を必要とする人の生活の理解と支援	・「その人らしさ」の理解 ・高齢者の暮らしと支援の実際 ・障害のある人の暮らしと支援の実際 ・介護を必要とする人の生活環境の理解	6	
介護実践における連携	・多職種連携 ・地域連携	6	
介護における安全の確保とリスクマネジメント	・事故防止と安全対策 ・感染対策	6	
介護福祉士の安全	・健康管理の意義と目的 ・健康管理に必要な知識と技術 ・安心して働ける環境づくり	6	
	合計	24	
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン		
備考			

科目の内容・細目シート

科目	介護の基本Ⅰ・Ⅱ（総括）	時間	6	
到達水準	・介護福祉士制度の沿革、法的な定義・業務範囲・義務について知っている			
	・個別ケア、ＩＣＦ、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセスについて理解している			
	・介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度等を理解している			
	・介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握している			
	・チームアプローチにかかわる職種や関係機関の役割、連携方法について知っている			
	・リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保について知っている			
	・介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策について知っている			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
介護福祉士の制度	介護福祉士の制度について、ポイント解説・指導	0.5		
尊厳の保持・自立に向けた介護の考え方と展開	尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開について、ポイント解説・指導	1		
介護福祉士の倫理	介護福祉士の倫理について、ポイント解説・指導	1		
介護を必要とする人の生活の理解と支援	介護を必要とする人の生活の理解と支援について、ポイント解説・指導	1		
介護実践における連携	介護実践における連携について、ポイント解説・指導	1		
介護における安全の確保とリスクマネジメント	介護における安全の確保とリスクマネジメントについて、ポイント解説・指導	1		
介護福祉士の安全	介護福祉士の安全について、ポイント解説・指導	0.5		
	合計	6		
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン			
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	コミュニケーション技術	時間	24			
到達水準	(学科) 利用者・家族とのコミュニケーション、相談援助の技術について知っている					
	(学科) 援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出す方法について知っている					
	(学科) 利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法について知っている					
	(実技) 援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出す方法について概説できる					
	(実技) 利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し、活用できる					
	(実技) 状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化について概説できる					
科目の内容	内容の細目	訓練時間				
		学科	実技			
介護におけるコミュニケーション	・コミュニケーションの意義、目的、役割 ・コミュニケーションの技法	3				
介護におけるコミュニケーション技術	・話を聴く技法 ・利用者の感情表現を察する技法 ・利用者の納得と同意を得る技法 ・質問の技法 ・相談・助言・指導の技法 ・利用者の意欲を引き出す技法 ・利用者と家族の意向を調整する技法	3	3			
介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	・コミュニケーション障害の理解 ・高次脳機能障害に応じたコミュニケーション技術 ・失語症に応じたコミュニケーション技術 ・構音障害に応じたコミュニケーション ・認知症に応じたコミュニケーション技術	3	6			
介護におけるチームのコミュニケーション	・チームコミュニケーションとは ・記録による情報の共有化 ・報告・連絡・相談による情報の共有化 ・会議による情報の共有化	1	5			
合計		10	14			
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン					
備考						

科目の内容・細目シート

科目	コミュニケーション技術(総括)	時間	6
到達水準	(学科) 利用者・家族とのコミュニケーション、相談援助の技術について知っている		
	(学科) 援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出す方法について知っている		
	(学科) 利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法について知っている		
	(実技) 援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出す方法について概説できる		
	(実技) 利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し、活用できる		
	(実技) 状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化について概説できる		
科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科 実技	
介護におけるコミュニケーション	介護におけるコミュニケーションについて、ポイント解説・指導	1	
介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション技術について、ポイント解説・指導		2
介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーションについて、ポイント解説・指導		1
介護におけるチームのコミュニケーション	介護におけるチームのコミュニケーションについて、ポイント解説・指導		2
	合計	1	5
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン		
備考			

科目の内容・細目シート

科目	生活支援技術Ⅰ	時間	21	
到達水準	(学科)生活支援におけるＩＣＦの意義と枠組みについて知っている			
	(学科)ボディメカニクスを活用した介護の原則を知っている			
	(学科)居住環境の整備、福祉用具の活用等により、利用者の環境を整備する視点・留意点について知っている			
	(学科)移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助に関する介護技術について知っている			
	(実技)ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解し、活用できる			
	(実技)居住環境の整備、福祉用具の活用ができる			
	(実技)移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助に関する介護技術について理解し、介助ができる			
科目の内容	内容の細目		訓 練 時 間	
			学科	実技
生活支援とICF	・生活支援とアセスメント ・ICFの視点とアセスメント		3	
居住環境の整備と福祉用具の活用	・居住空間の意義 ・生活空間と介護 ・福祉用具の活用			3
移動・移乗の介護技術の基本	・移動・移乗の介護を行うにあたって ・体位変換の介助 ・車いすの介助 ・歩行の介助		1	2
食事の介護技術の基本	・食事の介助を行うにあたって ・食事の介助		1	2
入浴・清潔保持の介護技術の基本	・入浴の介助を行うにあたって ・入浴の介助 ・部分浴の介助 ・清潔保持の介助		1	2
排泄の介護技術の基本	・排泄の介助を行うにあたって ・排泄の介助		1	1
着脱、整容、口腔清潔の介護技術の基本	・身支度の介助を行うにあたって ・衣類着脱の介助 ・整容の介助 ・口腔清潔の介助		1	1
家事援助の基本	・生活と家事の理解 ・調理 ・洗濯 ・掃除・ごみ捨て ・衣類の補修・裁縫 ・衣類・寝具の衛生管理 ・買い物		1	1
	合計		9	12
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン 実習用モデル人形、人体骨格模型、成人用ベッド、移動用リフト、スライディングボード、マット、車いす、簡易浴槽、ストレッチャー、排せつ用具、歩行補助つえ、盲人安全つえ 視聴覚機器、障害者用調理器具・食器類、和式布団一式			
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	生活支援技術Ⅱ	時間	30	
到達水準	(学科)移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期に関する介護技術について、利用者の心身の状態に合わせた介護を知っている			
	(実技)移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期に関する介護技術について、利用者の心身の状態に合わせた介助ができる			
科目の内容	内容の細目		訓 練 時 間	
			学科	実技
移動・移乗の介護	・ 体位変換の介助 ・ 車いすの介助 ・ 安楽な体位の保持と褥瘡の予防 ・ 歩行の介助 ・ 移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法			3
食事の介護	・ 食事の介助 ・ 食事に関する福祉用具とその活用方法 ・ 誤嚥・窒息の予防 ・ 脱水の予防			3
入浴・清潔保持の介護	・ 入浴の介助 ・ 入浴に関する福祉用具とその活用方法			3
排泄の介護	・ 排泄の介助 ・ 排泄に関する福祉用具とその活用方法 ・ 頻尿、尿失禁、便秘、下痢、便失禁への対応 ・ その他の排泄に関するさまざまな介助			6
着脱、整容、口腔清潔の介護	・ 衣類着脱の介助 ・ 整容の介助 ・ 口腔清潔の介助			6
睡眠の介護	・ 睡眠の介助を行うにあたって ・ 睡眠の介助 ・ 睡眠に関する用具とその活用方法 ・ 睡眠と薬		1	5
終末期の介護	・ 終末期の介護を行うにあたって ・ 終末期の介護 ・ 介護職、家族への支援		3	
	合計		4	26
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン 実習用モデル人形、人体骨格模型、成人用ベッド、移動用リフト、スライディングボード、マット、車いす、簡易浴槽、ストレッチャー、排せつ用具、歩行補助つえ、盲人安全つえ 視聴覚機器、障害者用調理器具・食器類、和式布団一式			
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	介護過程Ⅰ	時間	28
到達水準	(学科)介護過程の目的、意義、展開について知っている		
	(学科)介護過程を踏まえ、目標に沿った計画の立て方を知っている		
	(学科)チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、各職種の役割を知っている		
	(実技)介護過程を踏まえ、目標に沿った計画を立て、介護を行うことができる		
	(実技)チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、各職種の役割を概説できる		
科目の内容	内容の細目	訓練時間 学科実技	
介護過程の基礎的理解	介護過程の意義と目的 ・介護の概念の見直し ・根拠に基づいた介護の実践 ・介護過程の必要性	6	
	介護過程の展開 ・介護過程の展開イメージ ・アセスメント ・計画の立案 ・実施 ・評価	12	
	介護過程とチームアプローチ ・介護過程とケアマネジメントの関連性 ・介護過程とチームアプローチ	2	8
	合計	20	8
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン		
備考			

科目の内容・細目シート

科目	介護過程Ⅱ	時間	25	
到達水準	(学科)介護職による介護過程の進め方を知っている			
	(学科)介護過程の実践的展開方法を知っている			
	(実技)情報収集、アセスメント、介護計画立案ができる			
	(実技)モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる			
科目の内容	内容の細目		訓練時間	
			学科	実技
介護過程の展開の実際	介護過程の実践的展開 ・事例で学ぶ介護過程の展開 ・取り上げる４事例と構成		2	
	事例１：施設で暮らす高齢者の介護過程 ・利用者のプロフィール ・現在の状況 ・Aさんのアセスメント表（１） ・Aさんの個別援助計画書 【解説】Aさんの介護過程について		1	2
	事例２：在宅に暮らす高齢者の介護過程 ・利用者のプロフィール ・現在の状況 ・○さんのアセスメント表（１） ・○さんの個別援助計画書 【解説】○さんの介護過程について		1	5
	事例３：障害のある人の介護過程 ・利用者のプロフィール ・現在の状況 ・Mさんのアセスメント表（１） ・Mさんの個別援助計画書 【解説】Mさんの介護過程について		1	5
	演習課題：介護老人福祉施設で生活するTさんの事例 ・利用者のプロフィール ・現在の状況 ・Tさんのアセスメント表（１） ・Tさんの個別支援計画書		1	5
	利用者のさまざまな暮らしと介護過程の展開 取り上げる４事例の特徴 ・利用者のプロフィール ・現在の状況 ・Kさんのアセスメント表（１） ・Kさんの個別支援計画書			2
	合計		6	19
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン 実習用モデル人形、人体骨格模型、成人用ベッド、移動用リフト、スライディングボード、マット、車いす、簡易浴槽、ストレッチャー、排せつ用具、歩行補助つえ、盲人安全つえ 視聴覚機器、障害者用調理器具・食器類、和式布団一式			
備考				

科目の内容・細目シート

科目	介護過程Ⅲ	時間	46	
到達水準	(学科)利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開方法について知っている			
	(学科)利用者の心身の状況等に応じた介護過程の展開や系統的な介護について知っている			
	(学科)安全確保・事故防止、家族との連携・支援、多職種・他機関との連携について知っている			
	(実技)利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開ができる			
	(実技)利用者の心身の状況等に応じた介護過程を展開し、系統的な介護を行うことができる			
	(実技)安全確保・事故防止、家族との連携・支援、多職種・他機関との連携について概説できる			
	(実技)利用者の心身の状況に応じた介護を行うことができる			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
介護過程の展開の実践	利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開 ・利用者のさまざまな暮らしと介護過程の展開 ・取り上げる4事例の特徴	1	2	
	事例１：片麻痺のある高齢者の夢の実現に向けた支援 ・利用者のプロフィール ・現在の状況 ・Kさんのアセスメント表（１） ・Kさんの個別援助計画書 【解説】Kさんの介護過程について [演習]～Kさんの自立に向けた介護の実際（移動・移乗の介護）～確認・評価してみよう	2	5	
	事例２：在宅で終末期を迎える高齢者と家族の生活支援 ・利用者のプロフィール ・現在の状況 ・Nさんのアセスメント表（１） ・Nさんの個別援助計画書 【解説】Nさんの介護過程について [演習]～Nさんの自立に向けた介護の実際（食事、身だしなみ、排泄の介助）～確認・評価してみよう	2	10	
	事例３：都会に住む一人暮らし高齢者の生活支援 ・利用者のプロフィール ・現在の状況 ・Fさんのアセスメント表（１） ・Fさんの個別援助計画書 【解説】Fさんの介護過程について [演習]～Fさんの自立に向けた介護の実際（移動・移乗、排泄の介助）～確認・評価してみよう	2	10	
	事例４：介護老人保健施設で生活する利用者への支援 ・利用者のプロフィール ・現在の状況 ・Sさんのアセスメント表（１） ・Sさんの個別援助計画書 【解説】Sさんの介護過程について [演習]～Sさんの自立に向けた介護の実際（衣類の着脱、入浴の介助）～確認・評価してみよう	2	10	
	合計	9	37	
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン 実習用モデル人形、人体骨格模型、成人用ベッド、移動用リフト、スライディングボード、マット、車いす、簡易浴槽、ストレッチャー、排せつ用具、歩行補助つえ、盲人安全つえ 視聴覚機器、障害者用調理器具・食器類、和式布団一式			
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（総括）	時間	6			
到達水準	（学科）介護課程の目的・意義・展開、介護過程を踏まえた目標に沿った計画の立て方、チームで介護過程を展開するための情報共有の方法及び各職種の役割を知っている					
	（学科）介護職による介護過程の進め方、介護過程の実践的展開方法について知っている					
	（学科）利用者の心身の状況等に応じた介護過程の実践的展開方法、利用者の心身の状況等に応じた介護過程の展開や系統的な介護、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、多職種・他機関との連携について知っている					
	（実技）介護過程を踏まえ、目標に沿った計画を立て、介護を行うことができる					
	（実技）チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、各職種の役割を概説できる					
	（実技）情報収集、アセスメント、介護計画立案、モニタリング、介護計画の見直しができる					
	（実技）利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開ができる					
	（実技）利用者の心身の状況等に応じた介護過程を展開し、系統的な介護を行うことができる					
	（実技）安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種・他機関との連携について概説できる					
	（実技）利用者の心身の状況に応じた介護を行うことができる					
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間				
		学科	実技			
介護過程の基礎的理解	介護過程の基礎的理解について、ポイント解説・指導	1				
介護過程の展開の実際	介護過程の展開の実際について、ポイント解説・指導		2.5			
介護過程の展開の実践	介護過程の展開の実践について、ポイント解説・指導		2.5			
合計		1	5			
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン 実習用モデル人形、人体骨格模型、成人用ベッド、移動用リフト、スライディングボード、マット、車いす、簡易浴槽、ストレッチャー、排せつ用具、歩行補助つえ、盲人安全つえ 視聴覚機器、障害者用調理器具・食器類、和式布団一式					
備 考						

科目の内容・細目シート

科目	発達と老化の理解Ⅱ	時間	21	
到達水準	・発達の定義、発達段階、発達課題について知っている			
	・老年期の発達課題、心理的な課題と支援の留意点について知っている			
	・高齢者の多い症状・疾病等と支援の留意点について知っている			
科目の内容	内容の細目		訓練時間	
		学科	実技	
人間の成長・発達	・ 発達の定義 ・ 発達段階と発達課題	3		
老年期の発達・成熟と心理	・ 要介護状態と高齢者の心理 ・ 不適応状態を緩和する心理・施設への入所 ・ 入居による環境の変化と心理	3		
高齢者に多くみられる 症状・疾病等	・ 高齢者に多くみられる症状	9		
	・ 訴えとその留意点			
	・ 介護を要する高齢者によくみられる病気・病態	6		
</				

科目の内容・細目シート

科目	発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ（総括）	時間	6	
到達水準	・老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響について知っている			
	・老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響について知っている			
	・発達の定義、発達段階、発達課題について知っている			
	・老年期の発達課題、心理的な課題と支援の留意点について知っている			
	・高齢者の多い症状・疾病等と支援の留意点について知っている			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
こころの変化と日常生活への影響	こころの変化と日常生活への影響について、ポイント解説・指導	1		
からだの変化と日常生活への影響	からだの変化と日常生活への影響について、ポイント解説・指導	2		
人間の成長・発達	人間の成長・発達について、ポイント解説・指導	1		
老年期の発達・成熟と心理	老年期の発達・成熟と心理について、ポイント解説・指導	1		
高齢者に多くみられる症状・疾病等	高齢者に多くみられる症状・疾病等について、ポイント解説・指導	1		
		</		

科目の内容・細目シート

科目	認知症の理解Ⅱ	時間	24	
到達水準	(学科)代表的な認知症の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化について知っている			
	(学科)認知症の検査や治療等の医学的知識について知っている			
	(学科)認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、状況に応じた支援を知っている			
	(実技)認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、状況に応じた支援ができる			
	(実技)地域におけるサポート体制を理解し、支援ができる			
科目の内容	内容の細目		訓練時間	
			学科	実技
医学的側面からみた 認知症の理解	・ 認知症とは ・ 認知症の判断 ・ 認知症の原因疾患とその病態 ・ 認知症の治療と予防		6	
			6	
認知症の人や 家族への支援の実際	・ 認知症のアセスメント ・ 初期の認知症への介護 ・ 中期の認知症への介護 ・ 後期の認知症への介護 ・ 環境の整備 ・ 認知症ケアにおけるチームアプローチ ・ 地域のサポート体制 ・ 家族介護者への理解 ・ 家族へのレスパイトケア ・ 家族へのエンパワメント		2	4
			2	4

科目の内容・細目シート

科目	認知症の理解Ⅰ・Ⅱ（総括）	時間	6	
到達水準	・認知症ケアの取組みを踏まえ、認知症ケアの理念について知っている			
	・認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を知っている			
	・認知症の人やその家族に対する関わり方の基本について知っている			
	・代表的な認知症の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化について知っている			
	・認知症の検査や治療等の医学的知識について知っている			
	・認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境についてアセスメントし、状況に応じた支援を知っている			
科目の内容	内容の細目		訓 練 時 間	
			学科	実技
認知症ケアの理念と視点	認知症ケアの理念と視点について、ポイント解説・指導		0.5	
認知症による生活障害、心理・行動の特徴	認知症による生活障害、心理・行動の特徴について、ポイント解説・指導		0.5	
認知症の人とのかかわり・支援の基本	認知症の人とのかかわり・支援の基本について、ポイント解説・指導		0.5	
医学的側面からみた認知症の理解	医療的側面からみた認知症の理解について、ポイント解説・指導		0.5	
認知症の人や家族への支援の実際	認知症の人や家族への支援の実際について、ポイント解説・指導		4	
	</			

科目の内容・細目シート

科目	障害の理解Ⅱ	時間	24	
到達水準	・さまざまな障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等について知っている			
	・障害児・者の障害、家族・社会関係、居住環境についてのアセスメント方法を知っている			
	・地域におけるサポート体制について知っている			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
医学的側面からみた 障害の理解	・視覚障害 ・聴覚・言語障害 ・運動機能障害 ・心臓機能障害 ・腎臓機能障害 ・呼吸機能障害 ・膀胱・直腸機能障害 ・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害 ・肝臓機能障害 ・知的障害 ・精神障害 ・発達障害 ・難病	6		
		6		
障害児・者への支援の実際	・基本的視点に基づいた個別支援 ・家族の状態の把握と介護負担の軽減 ・地域におけるサポート体制	6		
		6		
合計		24		
使用する機械 器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン			
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	障害の理解Ⅰ・Ⅱ（総括）	時間	6			
到達水準	・障害の概念の変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、障害者福祉の理念について知っている					
	・障害（身体・知的・精神・発達障害・難病等）による生活等の障害、心理・行動の特徴について知っている					
	・障害児・者やその家族に対するかかわり・支援の基本について知っている					
	・さまざまな障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等について知っている					
	・障害児・者の障害、家族・社会関係、居住環境についてのアセスメント方法を知っている					
	・地域におけるサポート体制について知っている					
科目の内容	内容の細目	訓練時間				
		学科	実技			
障害者福祉の理念	障害者福祉の理念について、ポイント解説・指導	1				
障害による生活障害、心理・行動の特徴	障害による生活障害心理・行動の特徴について、ポイント解説・指導	1				
障害児・者や家族へのかかわり・支援の基本	障害児・者や家族へのかかわり・支援の基本について、ポイント解説・指導	1				
医学的側面からみた障害の理解	医学的側面からみた障害の理解について、ポイント解説・指導	1				
障害児・者への支援の実際	障害児・者への支援の実際について、ポイント解説・指導	2				
	合計	6				
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン					
備考						

科目の内容・細目シート

科目	こころとからだのしくみⅠ（総括）	時間	3	
到達水準	・移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱・整容・口腔清潔、睡眠の介護に関係した基本的なからだのしくみや機能について知っている			
科目の内容	内容の細目		訓 練 時 間	
			学科	実技
各状態におけるからだのしくみ	移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠に関連するからだのしくみについて、ポイント解説・指導		3	

科目の内容・細目シート

科目	こころとからだのしくみⅡ	時間	60	
到達水準	・人間の基本的欲求やこころのしくみについて知っている			
	・学習・記憶等に関する基本的な知識について知っている			
	・生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等人体の構造とと機能について知っている			
	・移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護に関係したからだのしくみ、心理・認知機能等について理解し、アセスメント、観察、介護、多職種との連携について知っている			
科目の内容	内容の細目		訓 練 時 間	
			学科	実技
人間の心理	・ 人間の欲求の基本的理解 ・ こころのしくみの基礎		9	
人体の構造と機能	・ 生命の維持・恒常のしくみ ・ 人間のからだのしくみ ・ ボディメカニクスの活用		9	
移動・移乗における観察のポイント	・ 移動・移乗を阻害する要因の理解 ・ 変化に気づくための観察のポイント ・ 医療職との連携のポイント		6	
食事における観察のポイント	・ 食事を阻害する要因の理解 ・ 変化に気づくための観察のポイント ・ 医療職との連携のポイント		6	
入浴・清潔保持における観察のポイント	・ 入浴を阻害する要因の理解 ・ 変化に気づくための観察のポイント ・ 医療職との連携のポイント		6	
排泄における観察のポイント	・ 排泄を阻害する要因の理解 ・ 変化に気づくための観察のポイント ・ 医療職との連携のポイント		6	
着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント	・ 身じたくを阻害する要因の理解 ・ 変化に気づくための観察のポイント ・ 医療職との連携のポイント		6	
睡眠における観察のポイント	・ 睡眠を阻害する要因の理解 ・ 変化に気づくための観察のポイント		6	
終末期における観察のポイント	・ 終末期の変化の特徴 ・ 死後の対応 ・ 医療職との連携のポイント		6	
	合計		60	
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン、視聴覚教材（DVD）			
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	こころとからだのしくみⅡ(総括)	時間	6
到達水準	・人間の基本的欲求やこころのしくみについて知っている		
	・学習・記憶等に関する基本的な知識について知っている		
	・生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等人体の構造と機能について知っている		
	・移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護に関係したからだのしくみ、心理・認知機能等について理解し、アセスメント、観察、介護、多職種との連携について知っている		
科目の内容	内容の細目	訓練時間	
		学科	実技
人間の心理	人間の心理について、ポイント解説・指導	0.5	
人体の構造と機能	人体の構造と機能について、ポイント解説・指導	0.5	
各状態における観察のポイント	移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期における観察のポイントについて、ポイント解説・指導	5	
	合計	6	
使用する機械器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン、視聴覚教材(DVD)		
備考			

科目の内容・細目シート

科目	医療的ケア	時間	51	
到達水準	・医療的ケアを安全に実施するための基礎について知っている			
	・医療的ケアに関連する法制度や倫理について知っている			
	・感染予防、安全管理体制に関する基礎について知っている			
	・呼吸の仕組みとはたらき、吸引を受ける人の気持ちについて知っている			
	・喀痰吸引における急変・事故発生時の対応などについて知っている			
	・喀痰吸引の実施手順（口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部）について知っている			
	・消化器系のしくみとはたらき、経管栄養を受ける人の気持ちについて知っている			
	・経管栄養における急変・事故発生時の対応について知っている			
	・経管栄養の実施手順（胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養・経鼻経管栄養）について知っている			
科目の内容	内容の細目	訓練時間		
		学科	実技	
【医療的ケア実施の基礎】 医療的ケア	・ 喀痰吸引等制度（社会福祉士及び介護福祉士法の改正） ・ 医療的ケアと喀痰吸引等の背景 ・ 医療行為について ・ その他の制度 ・ 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 ・ 救急蘇生 ・ 感染予防 ・ 介護職の感染予防 ・ 療養環境の清潔、消毒法 ・ 消毒と滅菌 ・ 身体・精神の健康 ・ 健康状態を知る項目（バイタルサインなど） ・ 急変状態について	6		
安全な療養生活		6		
清潔保持と感染予防		6		
健康状態の把握		3		
【喀痰吸引 （基礎的知識・実施手順）】 喀痰吸引概論		9		
喀痰吸引実施手順解説		6		
経管栄養概論		9		
経管栄養実施手順解説		6		
	合計	51		
使用する機械 器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン、 視聴覚教材（DVD）			
備 考				

科目の内容・細目シート

科目	医療的ケア（総括）	時間	6	
到達水準	・医療的ケアを安全に実施するための基礎について知っている			
	・医療的ケアに関連する法制度や倫理について知っている			
	・感染予防、安全管理体制に関する基礎について知っている			
	・呼吸の仕組みとはたらき、吸引を受ける人の気持ちについて知っている			
	・喀痰吸引における急変・事故発生時の対応などについて知っている			
	・喀痰吸引の実施手順（口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部）について知っている			
	・消化器系のしくみとはたらき、経管栄養を受ける人の気持ちについて知っている			
	・経管栄養における急変・事故発生時の対応について知っている			
	・経管栄養の実施手順（胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養・経鼻経管栄養）について知っている			
科目の内容	内容の細目	訓 練 時 間		
		学科	実技	
【医療的ケア実施の基礎】 医療的ケア	医療的ケアについて、ポイント解説・指導	1		
安全な医療生活	安全な医療生活について、ポイント解説・指導	1		
清潔保持と感染予防	清潔保持と感染予防について、ポイント解説・指導	1		
健康状態の把握	健康状態の把握について、ポイント解説・指導	1		
【喀痰吸引 （基礎的知識・実施手順）】 喀痰吸引概論	喀痰吸引概論について、ポイント解説・指導	0.5		
喀痰吸引実施手順解説	喀痰吸引実施手順解説について、ポイント解説・指導	0.5		
経管栄養概論	経管栄養概論について、ポイント解説・指導	0.5		
経管栄養実施手順解説	経管栄養実施手順解説について、ポイント解説・指導	0.5		
	合計	6		
使用する機械 器具等	ホワイトボード、ホワイトボード使用備品、パソコン、プロジェクター、スクリーン、 視聴覚教材（DVD）			
備 考				

科目の内容・細目シート

[illegible]

科目の内容・細目シート

科目	介護調理実習	時間	20	
到達水準	目的に沿った献立を考え、調理することができる			
科目の内容	内容の細目		訓 練 時 間	
		学科	実技	
介護調理実習（１日目）	各野菜の洗い方・鮮度を保つ保存方法 各野菜の基本的な切り方・皮のむき方 魚介類の適切な仕分け・道具の準備・魚介類の水洗い作業・魚介類のおろし方 だし汁の準備・引き方 食材の味付け 煮物の野菜・肉の味付け 焼き物の味付け		5	
介護調理実習（２日目）	各野菜の洗い方・鮮度を保つ保存方法 各野菜の基本的な切り方・皮のむき方 食材の味付け 焼き物の味付け		5	
介護調理実習（３日目）	各野菜の洗い方・鮮度を保つ保存方法 各野菜の基本的な切り方・皮のむき方 食材の味付け 焼き物の味付け		5	
介護調理実習（４日目）	各野菜の洗い方・鮮度を保つ保存方法 各野菜の基本的な切り方・皮のむき方 魚以外の特殊食材の処理・適切な塩ふり・刺身のあしらいの準備・盛り込み だし汁の準備・引き方 食材の味付け・吸い物の味付け 揚げ物の味付け		5	

科目の内容・細目シート

科目	介護実習	時間	36	
到達水準	・介護職員の役割を理解し、業務ができる			
	・施設や在宅における生活を知り、利用者や家族の気持ちについて理解ができる			
科目の内容	内容の細目		訓 練 時 間	
		学科	実技	
施設サービス実習	・利用者の生活や要介護等に応じた在宅・施設等の生活体験 ・要介護度、健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則について学ぶ ・生活の中の介護予防、及び介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法の体験 ・利用者の身体状況に合わせた介護技術・環境整備について学ぶ ・更衣・整容・清潔保持について指示や根拠に基づく部分的な介護技術の体験 ・体位変換と移動・移乗と関連する福祉用具や様々な車いす、杖などの理解と介護技術の体験 ・食事、入浴、清潔、排泄、睡眠の介助に関する介護技術の体験 ・終末期介護について体験する			30
通所サービス実習	・利用者の生活や要介護等に応じた在宅・施設等の生活体験 ・要介護度、健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則について学ぶ ・生活の中の介護予防、及び介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法の体験 ・利用者の身体状況に合わせた介護技術・環境整備について学ぶ ・更衣・整容・清潔保持について指示や根拠に基づく部分的な介護技術の体験 ・体位変換と移動・移乗と関連する福祉用具や様々な車いす、杖などの理解と介護技術の体験 ・食事、入浴、清潔、排泄、睡眠の介助に関する介護技術の体験 ・終末期介護について体験する			6
	合計			36
使用する機械器具等				
備 考				

使用教材リスト

訓練科名：介護実務者研修・介護調理科

教材名	出版社名	教材使用科目（分野）
介護職員等実務者研修テキスト 第1巻 人間と社会	中央法規出版	人間の尊厳と自立 社会の理解Ⅰ 社会の理解Ⅱ
介護職員等実務者研修テキスト 第2巻 介護Ⅰ	中央法規出版	介護の基本Ⅰ 介護の基本Ⅱ コミュニケーション技術 生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ
介護職員等実務者研修テキスト 第3巻 介護Ⅱ	中央法規出版	介護過程Ⅰ 介護過程Ⅱ 介護過程Ⅲ
介護職員等実務者研修テキスト 第4巻 こころとからだのしくみ	中央法規出版	発達と老化の理解Ⅰ 発達と老化の理解Ⅱ 認知症の理解Ⅰ 認知症の理解Ⅱ 障害の理解Ⅰ 障害の理解Ⅱ こころとからだのしくみⅠ こころとからだのしくみⅡ
介護職員等実務者研修テキスト 第5巻 医療的ケア	中央法規出版	医療的ケア
基本マスター フード&クッキング	実教出版	調理全般に関する基礎知識 介護調理実習
食品衛生講習会テキスト	社団法人東京都食品衛生協会	食品衛生管理の基礎知識
ジョブカード作成	厚生労働省 ジョブカード 制度総合サイトより一部 抜粋	就職支援
企業に関する情報収集	—	就職支援
社会福祉施設における安全衛生対策	厚生労働省、都道府県労働局、労働基準監督署	安全衛生
ワークガイダンス講習テキスト	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構	職業能力基礎講習

※上記については、特定の出版社および書籍の宣伝や推奨をするものではありません。最終判断はご利用者自身となりますのでご注意ください。各教材の詳細情報や最新情報を取得したい場合は、出版社情報等を参考に各自でお問い合わせください。